京城日報

朝刊 夕刊

日本共同刊夕朝 六頁

皇紀二千六百二年八月四日　昭和十七年八月四日

京城日報　（昭和）　［印刷版］　（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）　第一萬二千四百九十號

社説　經濟事犯の撃滅

一

京城地方法院檢事局では、米の二重買ひに對し、詐欺罪を以て斷乎處斷することになり目下摘發中である。いふ迄もなく米は國民の主用食であり、同時に、戰時下最重要の物資である。即ち、國民生活の安定、戰爭力持續上、最大の要素たるを失はない。農村振興、食糧確保、代用食の勵行が、強調せられる所以はこ

こにあり、この際我々は、米の重要性を十二分に再認識して、苟くも、官の施策に悖るが如きは、厳に自戒すべきである。

二

幸ひ我國は、古來瑞穗國といはれて農本を國是とし、今日の大戰爭に際しても、食糧不安といふが如きは些かもない。

敵國の現狀はどうかといふに、重慶の如きは、毎日數十、數百の餓死者が路上に橫はつてゐると傳へられ、極度の食糧地獄を思はせてゐる。英國を見れば、主要食糧たる小麥、小麥粉ともに大半を海外に依存してゐたのであるが、戰爭のため樞軸側に封鎖されたもの、實に總輸入額の五〇%、これに、船腹不足、その他の惡條件を加へれば、確保と稱し得るもの僅々二〇%乃至三〇%と見てよい。このことは、英國が、如何に食糧調達難に苦しんでゐるかの證據であり、同時に、國民生活が恐るべき危機に曝されてゐることの反證ともなり得る。その他、肉類の九〇%位をはじめバタ、鷄卵、茶等悉く皆無に等しい狀態で英國の食糧的危機は、正に絶頂にあり、このことは、英國顚覆上、敗戰以上の主要素と見られてゐる。

三

我々は、今日の安泰に傲らず、この敵國の窮乏を他山の石として、自戒しなければならない。自戒即ち遵法であり、同時に、官の施策に對する無條件協力である。啻に米に限らず、戰爭遂行上、凡ゆる物資の偏在死藏、物價の高騰といふが如きは、敵以上の強敵であり、この強敵は、我銃後の國民に依つて擊滅一掃さるべきであることを、一人々々が肝銘すべきである。況んや、生存資源ともいふべき米の節約といふが如きことは、各々、自らに問うて反省自戒し、配給の萬全を期さねばならぬ。

四

大體我國の經濟事犯に對する處斷は輕きに失してゐる。獨逸、ソ聯はじめ諸外國においてはその情狀重きに對しては極刑を以つて臨んでゐる。戰時下、かゝる公益事犯が、私益事犯よりも一層重視さるべきは、蓋し當然であつて、我々は、當局の斷乎たる處置を要望するとゝもに、國民の猛省を促すものである。

拜米一擲・誇れ東亞人の血

烈々〝比島人に與ふ〟

本間最高指揮官メツセージ

本間最高指揮官

【マニラ三日同盟】本間比島方面軍最高指揮官は三日午前十時官邸にバルガス行政長官を招致し『比島人に與ふ』と題する長文のメツセージを手交した、その内容は五項目にわたり比島人の精神革命を促すものである、右に對しバルガス長官は皇軍の比島人に對する理解ある取扱ひに對し深く感謝の意を表するとともにメツセージの意を體し將來とも新比島建設、大東亞共榮圏の確立に邁進すべき決意を誓つた、メツセージ内容次の通り

一、大東亞共榮圏の理想は東亞諸民族をして八紘一宇の精神のもとにアジヤ人のアジヤとして確固不拔の態勢を築き地域的聯關を保つアジヤの天地を永遠の樂土たらしめんとするところにある、その實現を期するの道は各民族が皇國日本を中心として立體的に結合しかつその結合を堅くすることによつて政治的に經濟的に共榮圏に連なる民族として共通の理想のもとに邁進することにほかならぬ、八紘を一宇となすといふ日本建國以來の大理想は萬邦をして各々その處を得せしめることを目的とするものであつて、東亞の建設もまた日本の平和を確立すべきものと信ずる、今次大東亞戰爭の勃發も大義の赴くところを認識せず、高慢なる物質文明の優越感に委せて東亞の地を永遠にその覊絆のもとに拘束せんとする米英を膺懲し、その勢力を遠く大東亞地域外に驅逐せんとする意圖を完遂することにあるはもちろんであるが、しかし日本の深く期するところは區々たる領土的企圖に非ずして大東亞共榮圏の建設にあることは寸毫と雖も疑ふべからざるところである、比島民諸氏はこの大理想大使命を認識することによつて大東亞戰爭の本質的意義とその必然的方向を明かにしなければならぬ

二、日本が過去十數年にわたつて米英に對し隱忍自重し來れる所以のものは米英兩國がその思ひ上つた氣持から正義の認識への轉換を祈念したゝめにほかならない、然るに米英兩國はその非を悟らず正義に徹せんとする日本の意圖を故意に曲解し之に對して執拗なる妨害を加ふるのみならず國際的信義を無視して帝國に對し露骨なる壓迫を加へ遂に帝國の健全なる存在をも脅かすに至つた、かく過去の迷夢より覺めざる米英敵諸國は内に潛む日本の實力を知らず自ら墓穴をほるの愚を求めるに至つた、諸氏は聖戰開始以來半歳を過ぎ現に太平洋の制海權は日本に歸し米英の東亞侵略の據點は悉く皇軍の威力のもとに粉碎されたことを知つてゐる、もし諸氏の間に比島の平和を破壞したるものは日本軍の來寇なりとなすものあらばそれは拜米的意識の所産であつてその淺見は濟度すべからずといふのほかはない、大東亞戰爭の由來するところは米英特に米國の傳統的外交政策にもとづく、之に伴ふ慘禍、責任はもちろん戰爭の直接挑發者である米國の負ふべきものである

比島は米國の一部でありわが軍に抵抗した、したがつて比島は從來の觀念をもつてすれば形式的にも實質的にも敵である、しかるにわが國は特に米國を敵とするも比島民を敵とせずとなし、さらに比島民にしてわが眞意を諒解し大東亞共榮圏建設に協力するにおいては將來これに獨立を與ふべきこととあるべき大方針をさへ闡明した、これのみにても諸氏は今次の戰爭が如何に從來の戰爭と異りわが建國の大義に基づく聖戰なるかを知るべきである、余も亦隷下の軍を率ゐて比島に上陸して以來夙に全軍に命じ米軍を敵とするも無辜の比島民に對しては常に親愛の情をもつてこれに接し濫りにその生活を脅かす如きことなからんことをもつてした、余が各地の戰線において米國に忠誠を誓ひその指揮下に奮戰する比島兵に對してさへ如何に彼らの生命の安全をはかることに努力し來つたかは諸氏の記憶にな ほ新たなるところであらう、また市街および部落の燒却破壞はすべて米軍の用ひた有害無益な焦土戰術の結果であつて日本軍は故な★

なく最後迄米軍の勝利を信じ無意味なる抵抗を續けた、この無意味なる抵抗は彼ら自身の死傷と同時に皇軍の犧牲を要求した、もし余の胸底に大東亞戰爭の理想と信念なかりせば罪を比島軍に問ひその全員を葬り去らんこともまた已むを得ざるものがあつた、余がなにゆゑに忍ぶべからざるを忍んだか、ひたすら比島の平和恢復に心を盡しつゝあるかといふことは大義のなんたるかを知る比島民諸氏の等しく理解するところでなければならぬ、今にして諸氏は大東亞共榮圏の意義と比島民の分擔すべき重要なる使命と任務を自覺するとなくんば徒らに米國の桎梏下にありし當時の殘骸を曝すことに終り、新しきこの國際情勢に應ずるなんらの

★くして良民の家屋を破壞したことはなくまた一回たりとも意識的に良民の住家を燒却したことのなかつたとは余が天地神明に誓つて斷言するところである、しかるに余の降服勸告に應ぜざりし數萬の比島兵は余の衷情を解すること

役目をも果さぬことになるであらう、一たびわれらの敢行せんとする大東亞戰爭が新しき世界歴史の創造を目標とすることに想到すれば新生比島の政治、經濟ならびに產業上の能力が如何なる期待のもとに置かれてあるかといふことも自ら了得されねばなるまい、今や諸氏の生活には諸種の不便や故障のあることは余もまたよくこれを知つてゐる、しかしその苦痛は新しき歴史を生まんとする戰爭には不可避のものである、日本國民もまた新生大東亞の建設を選んで不退轉の意氣をもつて之を克服しつゝある、遙か歐洲の彼方においても獨伊兩國民は歐洲新秩序を目指してこれと戰つてゐる、否太平洋の東においてさへ爲政者の過まれる指導は望みなき無意味なる苦痛を強ひられてゐる、これに比ぶれば諸氏はまだ甚だ幸福なりといはねばならぬ、余はこの際諸氏の覺悟と決意に處して大東亞建設に伍すべき民族精神の勃興を望むこと切なるものがある

三、新生比島の建設は政治、經濟、產業等の中へ文化の中樞たる精神の基礎を確立するところから第一歩をふみ出さねばならぬ、精神の基礎とは歐米文化の假裝を脫して比島獨自の傳統、民族性の本然に還ることである、諸氏は

われ〳〵東亞人の血のなかに脈打つ剛健質實と勤勉努力節儉の建設的精神と風習を諸氏の日常生活のなかにとり戾さねばならぬ、東洋侵略の足場としてのみ比島を考へたアメリカの政策は比島民の生活から東洋人としての長所美點を奪ひ物質風潮の習慣を釀成することによつていつの間にか歐米崇拜の風潮を築き上げてしまつた、アメリカ文化は家鄉主義を崩壞に導き道義は轉じて虛榮となり勇氣は賭博射倖心に置き代へられた、デモクラシーは政治上の鬪爭と對立とを招來した、余は敢て切言する、諸氏が諸氏の生命力を蝕み來つたアメリカニズムに對する心醉から離脫解放されない限り、比島は漸次精神的に墮落をつゞけてつひに民族滅亡の危機に導かれるであらう、目覺めよ比島民、特に次代の比島を擔當すべき壯青少年よ翻然として目覺めよ、比島の更生はアメリカ文化の惡影響より離脫して醇乎たる東洋人に還ることによつてのみ求められる

四、新情勢に應ずるフイリピンの諸建設は一日といへども忽せにするあたはざるところは論をまたざるところであるが今日最も緊急を要すべきことは清新潑剌たる精神にもとづく生活革命を斷行することである、すなはちフイリッピンの獨立は形式的虛飾にあらずして生活力の充實を內容とすべきことを知らねばならぬ、比島民の各自が大東亞共榮圏の一員たることを自覺し遊惰な生活とその日暮しの習慣を捨て剛健なる建設精神に目覺むることこそ眞に獨立國たる第一資格を具有するのである、諸氏は速かに精神的經濟的に依存的なる生活樣式を清算し比島固有の文化を採用育成して東洋人としての確信に生きねばならぬ、徒に獨立の美名に憧れて獨立に代るべき能力の蓄積を怠ることは許されないことである

五、これを要するに諸氏はその缺點を蔽へ得ざるが如く諸氏は東洋人たる事實を蔽へることは出來ぬ、今こそ劣等感をもつて歐米に追從することを止めその東洋人たる本來の立場に還つて地理的人種的觀念の上に自己の正當なる地位を求むべきである、これがためには過去の清算と一大精神的革命とが強く要求せられ、これなくして比島將來の發展を求めることは絶對に不可能である

東太平洋作戰の意義　田代中佐放送

今や米本土を逆封鎖

對米挾擊態勢確立

樞軸海軍

田代中佐

【東京電話】去る六月四日帝國海軍部隊の雄渾至妙な大作戰が東太平洋全海域に繰展げられてから早くも二ケ月、大本營海軍報道部員田代中佐は記念すべき四日を前に三日午後八時ＡＫのマイクを通じ『東太平洋作戰の意義』の題下に左の如く論じ、アリユーシャン列島ならびにミツドウエー島方面の作戰をもつて新たに出發した帝國海軍の六作戰を『東太平洋作戰』と呼稱する所以を強調しこの作戰の展開により米國に最後に殘された對日北方進攻線は寸斷されその企圖は逆にわが海軍の掌中に歸し米本土を直接脅威下に屈伏せしめるのみならず樞軸海軍との對米挾擊態勢はいよ〳〵確立するに至つた點を闡明した、田代中佐の放送要旨左の如し

大東亞戰宣戰以來二百日帝國海軍は西太平洋における米英の海上勢力を撃摧し、大東亞海域よりこれを驅逐したのであるが、この六月その戰鋒を一轉し、東京を距る二千數百浬の彼方即ち東經百八十度子午線を東に越えて北はアリユーシャン列島より南はミツドウエー島に至る東太平洋大海域に雄偉なる作戰が進められたのである、この作戰のもつ戰略的意義は極めて重大なるものがある、本作戰をアリユーシャン作戰といはずあるひはまたミツドウエー作戰ともいはず、それらをすべて含めて東太平洋作戰と呼稱せられた所以は實にこゝにあつたのである、帝國は西太平洋の全域を嚴として確保してゐる、この搖ぎなき制海の上に立つて初めて大攻勢作戰が東太平洋に展開されたのであつて帝國はこれによつてアメリカの西太平洋回復の夢想を碎きかつアメリカの東太平洋における地歩に大動搖を招來したのである、この大攻勢作戰が敵に與へた打擊は實に甚大なるものであつてその結果を綜合すると第一にアメリカが北方の護りと恃むアリユーシャン列島に對する帝國海軍部隊のダッチハーバー急襲ならびに帝國陸海軍部隊のキスカ、アッツ島の攻略はアメリカ朝野の神經を尖銳化し輿論はこれがため沸騰を見るに至つたのである、アメリカ當局は周章狼狽してはじめ占領せられたるキスカ、アッツ島はアメリカに對しなんらの價値なしと民心を瞞着する宣傳を實施したが輿論は俄然當局の非を鳴らし、しからば何故にアリユーシャン列島方面に對し戰前から巨費を投じ航空基地潛水艦基地などを開設しこれが整備につとめしやと詰問するなどの論議が國內に沸き起り、またイギリスならびに聯合國側もアメリカ當局に對する非難攻擊の矢を放ちアメリカ當局の失態を責めその責任を追及したのである、これを見ても敵が戰前呼號した中央、南方の太平洋進攻路を喪失したる今日殘された唯一の北方進攻路すなはちアラスカよりアリユーシャン列島の諸基地を結ぶ進攻路が粉碎されたのみならず逆に日本の強壓を直接アラスカならびにアメリカ本土に感ずるに至つたのである

第二にアリユーシャン列島方面攻略の火蓋を切ると同時に帝國海軍部隊は太平洋々心に出擊しミツドウエー島を强襲するとゝもにこの海域にあつた敵艦隊の誘ひ出しに成功し見事これを捕捉して大本營發表にもあつた通りの戰果を擧げたのであるアメリカは例によつてマカッサル海戰、珊瑚海々戰と同じく盛んにミツドウエーの勝利を宣傳しあらゆる術策を弄しあらゆる虛僞を連ねて此海戰の戰果を歪曲し續けてゐるが、この海戰の結果同方面の敵殘存部隊はそののち某地に蟄伏してなんらなすところなく、又ハワイ、ミッドウエー方面は徒らに戰々兢々として大規模の防備演習を繰返してゐるのみである、大東亞戰爭勃發以來今日までアメリカはフイリッピン、グアム、ウエーキ、キスカ、アッツ島など數々の重要地點をわれに占領せられながら、われの寸地をも侵し得ない、そのアメリカが空虛な勝利を宣傳することは常識あるものゝ一笑に附すべきものなることは極めて明瞭である

第三は米本土西岸、シャトル方面における帝國潛水艦の活躍は米國に有形無形の重大なる脅威を與へてゐる、シャトルとわが本土との距離は約四千五百浬であるが遠く同方面に出擊した我潛水艦はその全沿岸を行動してゐるのである、事實は潛水艦の繰返しの出擊に應ずる船員募集にも……、アメリカ沿岸一帶はこの攻擊に戰慄するのである、戰前アメリカ當局は……を擧げての對日封鎖を……主客その立場を……アメリカこそ逆封鎖の下に……のである、以上の如く六月を機として展開された東太平洋作戰は西太平洋の確保をいよ〳〵强化ならしめ外は東太平洋の大攻勢を西洋における獨伊の大攻勢と相俟つて米英に對する挾擊の態勢を示す雄大なる大作戰である

ス市の脅威增大

ドン河彎曲部に激鬪

【リスボン二日同盟】ドン河大彎曲部における戰局は獨ソ兩軍空前の激戰を續けてをり、クレツカヤ、カラチ兩方面よりするスターリングラードへの脅威は刻々增大しつゝあり、獨軍は空陸の總力を擧げて赤軍防衞線の突破を試みつゝある、ソ聯側もこの方面の戰鬪がスターリングラードの運命を決するものと見てゐる、目下スターリングラード北西部には大戰車戰が展開中で、赤軍の抵抗もまた獨ソ戰はじまつて以來の頑強なものといはれ、戰場一帶は廣汎な地域にわたつて砂塵と黑煙に蔽はれてゐると傳へられる

自由を與へぬなら印度は親日だ

對英不服從を前に　ガンヂー翁宣言

ガンヂー翁

【ブエノスアイレス特電】（二日發）對英不服從運動を正式決定するため、七日ボンベイに開催の會議派全印委員會を前に米英側は會議派に對する彈壓、中傷、懷柔など必死の切崩し工作に狂奔してゐるが、ボンベイ、ユーピー電によれば、ガンヂーはかかる米英の策動を痛烈に反駁するとゝもに印度に自由が與へられぬ場合印度が親日的態度を取ることもあり得る旨次の如き宣言を發表した

印度の獨立運動に對する米英の非難と考へは我々に對する彈壓强行の前兆と見るべくかゝる彈壓は一時的に印度民衆を彈壓することは出來るかも知れぬが、一度我等の不服從運動が開始されたる場合これを彈壓することは絶對に不可能で、印度の要求は極めて正當である、この際印度が解放されねば將來印度は親日的傾向を取るかも知れぬ、しかし印度に自由が與へられる場合には聯合國は印度から相當の代償を得てその脆弱なる地位を補强することも不可能でないであらう

右ガンヂーの聲明によつて明かな如く米英側のあらゆる威嚇、懷柔にもかゝはらず今次新反英運動に對する會議派の決意には極めて確固たるものあり、ワルダ來電によれば、國民會議派領袖は二日ワルダにおいてガンヂーと會見、その抱懷する新不服從運動の實行計畫を詳細に聽取、來るべき全印委員會の對英撤退要求決議が英側によつて拒否された場合全印一齊に蹶起して決行すべき不服從運動の具體的計畫につき愼重協議を遂げ、着々同運動展開の準備を進めつゝあり、かくて印度は今や米英双方の强硬態度により正に嵐の前の靜けさとでもいふべき無氣味な睨み合ひ狀態のまゝ刻々破局に向つて突進しつゝある情勢にありといへよう

岸本大將に決定

第十九代目東京市長

【東京電話】大東亞戰下帝都の盛容を示す東京市長の後任に關してさきに市長就任の內諾を得た岸本綾夫大將の推擧の經緯から紛糾をつゞけてゐた市會も吉永警視總監松村東京府知事の斡旋により全會一致で同大將を推すことになり、三日午後二時半市長選擧市會を開き滿場一致で投票を省略し議長指名に一任、議長より岸本大將を指名しこゝに第十九代東京市長として陸軍大將岸本綾夫氏が當選、市會よりこの通告を受けた市側では直ちに前田總務局長を杉並區堀ノ內の岸本大將邸に派し正式に快諾を得た【寫眞＝岸本市長】

岸本大將略歷

第十九代東京市長に決定した岸……長として科學兵器の研究に當り昭和三年兵器局長、同五年中將に昇進、再び歐洲各國を巡遊して翌五年陸朝造兵廠長官となり同九年技術本部長に就任、近代兵器の向上に挺身、同十一年八月大將親任と同時に豫備役に編入され今日に至つた

人

◇芳賀文三氏（殖銀監事）五日東上の豫定

北窓南面

夏季我々が自由に新鮮な野菜を攝り得ないといふことは實に不幸である▲第一ビタミンの缺乏によつて健康的でないし▲家庭生活の精神的方面にも惡影響がある▲しかし戰時下、畑作物の主要作物への轉換といふことも或る程度肯定出來るし▲消費生活そのものゝ規正といふことも當然考へられねばならぬから▲或る程度の忍苦鍛錬は當然のことであらう▲しかし新鮮な野菜がこれ以上生產され、これ以上円滑に配給され得るものならそれに越したことはない▲最近の野菜の不自由はさういふ原因を除去することによつて或る程度緩和されさうだ▲現に本府はこの野菜の自給自足計畫をたてゝ生產と配給に萬全を期してゐるやうだから▲我々は大いにこれに期待をつなぐものだが▲問題は野菜の價格の非彈力性と配給系統の亂脈にあると思はれる▲配給を公平にするためには或る程度の强力な操作が必要だが▲その操作のためには配給機關の

蔬菜、生果の自給自足へ 配給の適正化協議
十九日から農林局で打合會

現下の輸送難に對處し蔬菜類および生果物の鮮內自給自足體制の强化、配給の適正化をはかるため、農林局では各道農務課長、主任官並に農場その他の民間關係者を招集し八月十九日より三日間總督府第三會議室において生果物、蔬菜等の出荷統制及び增產對策打合會を開催することゝなつた

生產關係　現在內地より年額八百萬圓程度の移入が行はれてゐるが輸送逼迫の今日、鮮內の自給自足を强化する必要があるので、內地における如く大消費都市の周邊に近郊蔬菜農業を奬勵し可及的に地方の輸送負擔力を輕減せしめる

配給關係　近く實施豫定の生鮮食料品配給統制規則に基き今秋より生果物の配給統制を實施することゝなつてゐる、實施機關は農會系統の諸機關を通じて行ふ方針で朝鮮農會が需給計畫を樹立し生產地毎に生產組合より計畫的出荷をなさしめ、市場を通じて消費者、業務用別に配給し家庭用蔬菜と生果の配給に萬全を期する

以上の根本方針に基づき具體的方法につき打合せが行はれるもので最初の二日間は官廳關係者のみが協議、三日目は市場、民間關係者を含めて打合せが行はれる、協議事項は左の通り

一、蔬菜類の增產奬勵政策の具體的方法
二、生鮮蔬菜の貯藏の强化ならびに方法改善
三、價格の適正化
四、出荷の計畫的統制

十七年度物動計畫を協議
きのふ本府で企畫委員會開く

本年度朝鮮物動計畫の實施を打合せる企畫委員會は三日午前九時より本府第一會議室で開催、田中委員長ほか各委員、幹事出席、まづ田中委員長の挨拶あり鹽田企畫部長より本年度物動計畫の概要について述べたのち協議に入り

一、昭和十七年度生產擴充計畫目標
二、昭和十七年度生產擴充計畫實行
三、昭和十七年度官需實行計畫
四、昭和十七年度民需實行計畫
五、昭和十七年度防空緊急對策實行計畫

を中心に十七年度物動計畫の實施方について協議した

諸結論さらに檢討
九月開催の經濟懇談會に於て 電力專門委員會開く

東亞經濟懇談會朝鮮委員會主催の電力專門小委員會は、三日午後一時半から朝鮮商議會議室で開催、本府より鹽田企畫部長、角永同第一部長、西田電氣第一、田中同第二課長、委員會側から今井西鮮電氣社長、小倉南電社長、玉置鴨電常務、田村電氣業務出席、まづ今井氏よりさきに東京で開かれた大東亞電力懇談會席上において、政府當局より闡明した大東亞共榮圈確立のための電力國策につき說明があつて討議に入り、南方電力資源と半島電力資源との關聯性および半島電力資源の活用方策等について討議した結果

一、南方の電力資源開發は作戰遂行上早急にはゆかず相當期間を要するので、それ迄の共榮圈內における電力資源は半島が供給すべき使命を負荷されてゐると
二、南方の電力資源開發と關聯して早くも半島における輕金屬工業と南方の輕金屬工業との摩擦を顧慮する向きあるが、南方電力資源と共榮圈內の需要を睨み合せれば斯かる懸念は絶對にないこと
三、半島の產業政策は輕金屬工業に偏せず輕金屬と關聯ある各種工業の綜合的振興が必要であること
四、半島の新興工業振興上電力統制を斷行する必要があること
五、南方の電力資源開發に朝鮮の水力電氣資源開發の經驗並に技術を活用して積極的に協力すること

などの結論に達し、九月下旬京城で開催豫定の東亞經濟懇談會總本部主催の朝鮮經濟懇談會において右問題を中心に、これが具現化について專門的檢討を加へることになつた

纖維輸出組合 本月末頃創立總會

朝鮮東亞貿易會社主催の纖維輸出組合結成に關する懇談會は三日午前十時より金千代會館六階において開催、主催者側より橫瀨社長、湖合常務以下關係課長および鮮內有力纖維輸出業者ら百廿餘名出席、先づ橫瀨社長より輸出統制組合設立の必要性について說明あり、續いて吉岡輸出第三課長より組合組織に關する說明があつて懇談に入り、輸出纖維および纖維製品の價格統一について丸宮商事、纖維製品の滿洲向輸出委託手數料の決定につき東棉、通關事務その他輸出手續の簡易化について又一外各代表者よりそれぞれ要望、次いで組合設立要項ならびに定款制定案を承認のうち設立發起人の選任に入り、東棉、三興、三井、又一、日綿、坂野合名、[illegible]、東西貿易會社の各代表者を選定、直ちに組合設立準備に着手し本月末ごろ創立總會を開催することゝして午後三時散會した

なほ同組合の主なる業務は纖維製品の輸出統制事務、輸出調整機關との連絡、輸出斡旋等で生糸、人絹糸、綿布、人絹布、絹布用製品の六部を設けることになつてゐる

既存鐵鋼四組合解散

鮮內における鐵鋼需給の一元的統制を目ざしさきに鐵鋼統制會朝鮮支部が設置され、朝鮮鐵材販賣會社により統制が加へられてゐるが既存の鐵鋼配給機構の確立により既存の朝鮮第一鋼材特約店組合、朝鮮中間第二鋼材特約店組合、朝[illegible]

水產檢查所改組
制度の改革强化を圖る

經濟統制の强化に即應し總督府水產局では水產檢查制度の全面的改革、强化を圖ることゝなり檢查機構とゝもに本府水產檢查所の改組につき研究中であるが成案を得次第、所要經費を明年度豫算に要求する方針である

現行制度によると、本府、道、組合がそれぞれ各自の立場から本府は輸移出品につき、道、組合は生產品の檢查を行つてゐるが三檢查機關に有機的連絡を缺ぎかつ規格も不統一であるため檢查の重複その他の諸弊があるのでこれが缺陷を是正すると同時に價格統制に對處し、規格の全鮮的統一及び品質の向上を期することゝなるものである

また檢查機構の改革については本府水產檢查所を强化して道檢查所を吸收するとゝもに生產、搬出、輸移出檢查を一元的に本府檢查所で實施する方針と見られる

樺太、北支炭へ振替か 船腹吸收策打開か
九州炭入手難處置注目さる

[illegible]下半期鮮內石炭の需給事情は[illegible]炭の海上輸送に關しては上期に比し樺太炭、北洋材の輸送を終ることなどによつて遙かに好轉、昨年下期に對してよりもやゝ上廻るのではないかとの見透しさへ立つに至つたこと、內地炭の移入には關門トンネルの開通により內海航路による若松搬出の海上ルートが相當分陸上輸送に轉換、十月一日以降はさらにこの陸上輸送が增大することが見込まれるとともに目下內海側に築港工事中である苅田港の石炭搬出設備が完了し、阪神名向けの搬出量の相當量がこれまた若松港から轉換、こゝに九州炭の輸送量は根本から變る機運にあつて從來若松―釜山の近距離輸送による採算に朝鮮向けに吸收し得た船腹事情からいへば惡化されることが見込まれ、こゝに朝鮮の九州炭入手難豫想からこれの樺太、北支炭への銘柄振替か、特殊の手段による船腹吸收策を打つかしなければならないこととなつた、朝鮮側としては最も安定ある策として無煙炭への使用轉換が要請される、ともあれこの九州炭の輸送路轉換は朝鮮側として相當惡條件になることは確實となり、これに對する處置が問題化するものとみられる

十九億餘萬圓
上半期手形交換

手形交換所調查＝十七年上半期における鮮銀ほか七銀行、一中央郵便局の手形交換高は九十七萬八千九百六十一枚、十九億八千三百四十五萬七千七百四十六圓で前期に比し二千九百六十三枚、二億二百四十四萬二千二百二圓、前年同期に比し三萬七千十四枚、三億七千八百二萬七千三百三十六圓のいづれも增加となつた、內譯左の通り

	枚數	金額(單位千圓)
鮮銀	[illegible]	[illegible]
殖銀	[illegible]	[illegible]
第一	[illegible]	[illegible]
安田	[illegible]	[illegible]
三和	[illegible]	[illegible]
商銀	[illegible]	[illegible]
漢銀	[illegible]	[illegible]
東一	[illegible]	[illegible]
中央局	[illegible]	[illegible]
合計	九七八、九六一	一、九八三、四五七

次に月別交換高を示せば左の通り

	枚數	金額(單位千圓)
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
合計	九七八、九六一	一、九八三、四五七

金屬類特別回收强化へ
官廳側懇談會

[illegible]金屬類特別回收に關する官廳側懇談會は三日午後一時總督府第一會議室で鹽田企畫部長統裁のもとに開催された

企畫部、殖產、鑛務、農林、鐵道、遞信、專賣各部局の關係課長以下出席

現下の金屬回收事情に鑑み民間に率先して官廳側が回收强化に乘り出すことに意見一致をみた、なほ京畿道主催の官民懇談會は五日午前十時府民館に開催される

自家鹽は許可制
大藏當局の食用鹽取扱方針

[illegible]方針が決定した、それによると自家用製鹽は許可制を採用し家族一人當り大體年十二キログラムを標準に許可するが、自家用製鹽者たりとも當分の間從來の割當配給量は依然支給されることとなつてゐる、大藏當局の取扱ひ許可方針は大要左の如くである

▲許可　希望者は製鹽の場所、方法、一ケ年の生產見込高、製造期間、所屬家族(雇人も含む)人員數、住所氏名を記載した許可願書を最寄の地方專賣局出張所、派出所、タバコ、鹽販賣所などに持參或は郵送すればよい、許可はしたがつて無料だが製造方法に不適當のものがある場合は專賣局で適當に指導するはずである、また隣組その他の集團共同製鹽も許可されるが、あまり大規模なものを避け一村單位程度に止める豫定である、許可されると許可指令書が交付されるからそれを待つて製鹽を開始することゝなつてゐる

▲分量　家族(雇人も含む)一人當り大體年十二キロ瓦が標準となつてゐるが、この分量は一般家庭の自家用味噌、醬油その他の醬用量を充すに充分とみられるものであり、このほかに從來配給されてゐた割當量は當分の間依然配給される

▲資材　製鹽に必要な器具は出來るだけ有り合せの設備を利用しまた製鹽のため農耕地をこれに轉用することは絶對に避けること、從つて製鹽用の資材は別に配給されない

無電台
半島婦人に告ぐ

◇……この[illegible]週間が行はれ國民生活において共々精神的[illegible]を分け合ふべく當局はしきりにうながされてゐます、この機に當り半島女性のインテリ層においては一家庭の主婦としてのみにとどまらず、可及的時間を割いて未だ國語を解せぬ婦人に、先づ身を以つて國語普及に率先し一日も早く日本精神を把握させようではありませんか

◇……時々刻々に遷り變る現狀において、いつまでも舊來の陋習生活の思想にかられては、大東亞共榮圈を荷つて立つべき未來の勇士を育くむ母たるの資格が疑はれ歎かはしい極みでは御座いますまいか、この尊い使命を我我婦人の國家を思ふ細かい愛情を以て貢獻しようではありませんか(府內明倫町、新井)

第四回貯蓄、報國債券賣出

【東京電話】政府は八月廿一日から九月廿一日まで第四回戰時貯蓄債券六千五百萬圓(賣出價額)および第四回戰時報國債券三千四百五十萬圓、合計九千五百萬圓(賣出價額)を前回同樣の條件で勸業銀行をして賣出さしめるが、前回に比し貯蓄債券七圓五十錢券および報國債券五圓券を比較的多額に發行して小額債券購入希望者の便宜をはかることになつた

比島增税斷行

【マニラ二日同盟】比島行政機關では十月以降の税收入は納期の關係で減少するため、これを補ふ意味で今回增税を斷行することになり、去る廿八日比島軍政監部の承認を得たので左の項目の增税を發表した

一、ラヂオ登錄税　從來の十割引上げ七月廿四日より實施
二、外人登錄税　從來外人の所得額に應じスライヂング・スケール(準隨率)式に一年間一ペソから十ペソまでに改正、七月廿四日實施
三、酒類および燃料アルコールの特別消費税　農村で製造する下級酒には税率は比較的低率とし、ワインその他の上級酒に對しては高税を課すこととした、これによりビールは小瓶一本當りの税金は從來四セントであつたものが六セントに引上げられた、燃料アルコールの消費税は從來ガソリンに對してのみ課税されてゐたものを燃料アルコールにも課税することとした、酒税およびアルコール税引上げは八月一日より實施

以上三項の增税によつて比島行政機關の今年度税收增加は大體六十乃至七十萬ペソに達するものと豫想されてゐる

ジヤバ原住民啓蒙に三教育施設

【バタビヤ三日同盟】軍政當局では原住民の教育指導に努めてゐるが去る一日から左の通り三つの新教育施設を開始した

一、婦人講習會　原住民に對する日本語の講習會は四月以來行はれてゐたが最近原住民の上流婦人や女警官の間に日本語を知るだけでなく、日本の眞の姿を知りたいといふ要望が强いので軍政監部で婦人講習會を開いて日本語教育を中心に日本の文化、家庭などに關する講習會を開催し百六十名の原住民婦人が熱心に勉强してゐる
二、技術員養成所　八月一日開所二十名の原住民が入所して六ケ月間の教育をうけてゐるが原住民の機械作業に對する興味は我我の想像以上だ、卒業生は適當に配置されて技術方面で新ジヤバ建設に貢獻することとなる
三、獸醫學校　家畜の衛生改種に關する學問技術を原住民に教へるため三年制の學校がボゴル(舊バイテンゾルグ)に開校された、生徒數はいまのところ四十名であるが、この種の學校は熱帶地方ではサイゴンに一校あるだけである

新法幣切替に物價引上げ嚴禁
軍當局布告を發す

【漢口二日同盟】武漢地區では來る十日より二週間を限度として舊法幣の全面回收が行はれるが、わが陸軍當局ではこれと同時に物價の安定、儲備券の價値維持を圖るため積極的な物價抑制に乘出すことゝなつた、すなはちわが陸海軍當局は七月三十日附をもつて左の如き布告を發し、新法幣建價格への切替へに際し不當なる物價引上げを嚴禁するとともに、日華兩當局において適正價格を軍票および儲備券兩建で決定發表することとなつた

◇物價安定に關する布告◇

武漢における中央儲備銀行券の進出に關してはすでに軍ならびに國民政府より聲明せるところなり、通貨工作と密接なる關係を有する物價に關しては日華當局より法令をもつて適正價格を示しその昂騰を嚴禁せり、日華人士はよろしく以上施策の眞意を汲み、心を大にし私を滅して公に奉じ、もつて軍並に國民政府の施策に協力しその實行を容易ならしむべし、もし法令に違反し軍當局等に示せる『舊法幣二對儲備券一』の交換率を破り物價を昂騰せしめあるひは闇行爲などにより經濟を擾亂せしめたるものは斷乎として嚴罰に處す、右布告す

北鮮水力電氣
十五日創立總會

北鮮水力電氣の資本金(一億圓四分の一拂込)は當初發起人引當で設立することになつてゐたが一部株式の緣故募集を行ふこととなつたので來る十五日創立總會を開催定款制定、役員の選任その他の件を附議決定する

朝鮮機械總會　朝鮮機械では來る廿日仁川工場において定時總會を開催、當期利益處分案(配當八分据置)並取締役吉田秀次郎氏に弔慰金贈呈の件を附議する、なほ總會出席のため社長橫山公雄氏は十五日入城する

漢江水電處女配當五分

漢江水電では來る廿二日午前十一時より銀行集會所に第七回定時株主總會を開き、當期諸決算案並に建設利息配當(年五分配)選任取締役高橋省三氏に慰勞金贈呈の件を附議する

朝水臨時總會

朝鮮水力電氣の資本金三億圓への倍額增資は八月一日をもつて新株の第一回拂込(五千百萬圓)を完了したので、來る廿日京城本社で右增資報告のため臨時總會を開催する

安田銀行異動

【東京電話】安田銀行では三日左のごとく人事の異動を發令した(括弧內は舊職)

竹內擴充解本店營業部長(常務取締役)▲竹村吉右衞門命本店營業部長(第一業務課長)▲追野二命業務課長(福岡支店長)▲林道夫命福岡支店長(三田支店長)▲石井保次命倉敷支店長(觀音寺支店長)▲本田堅命米子支店長(福岡支店副長)

淡水魚養殖
十ケ年計畫に全北乘出す

【全州】全北水產試驗場では沿岸漁業就中淺海における貝類增殖計畫を進める一方道內の河川、湖沼、水組貯水池を利用しアユ(鮎)フナ(鮒)コヒ(鯉)ワカサギ(公魚)マス(鱒)などの淡水魚繁殖十ケ年計畫に乘出し、目下養殖方法は鎭海養魚場等に[illegible]を練つてゐるが、これが養殖稚魚或は卵を移入し[illegible]貯水池にて孵化せしめるもので此の計畫が遂行される曉には道內の河川湖沼には到る處肥つた淡水魚の浮遊を見るべく從つて道民の食膳を大いに賑はすことになりその成果が注目されてゐる

税務協議會

【金泉】金泉税務署の第七回税務協議會は廿八日午後一時から同署會議室で開[illegible]

日本代表籠球團を招聘
十五、六兩日試合

八日から三日間新京で開催の東亞競技大會日本代表籠球團の同大會出場を機に朝鮮體育振興會では右代表團を招聘して十五、十六の兩日毎日午後五時半から京城運動場庭球コートで模範試合を擧行する、兩軍のメンバー次の通り(括弧內は出身校名)

▲日本代表籠球團　總監督牧山宝秀(早大出)監督竹崎道雄(早大出)選手F杉町伊平(京大)池上喜八郎(東京文大)八谷貴(東京高師)久保光雄(立大)岡上(慶大)C[illegible](東大出)張利鎭(立大出)[illegible]俊(立大)G金村[illegible](延專出)[illegible]田秀(慶大)井上一夫(東京高師)李重澗(立大)

▲朝鮮代表籠球團　選手F吳壽喆(普專出)李好善(同)李相勛(延專出)朴榮大(同)O李俊榮(普專出)方元淳(延專出)G金[illegible](立大)吳[illegible](普專出)張洛均(同)[illegible](延專出)

漁業座談會

【鎭南浦】朝鮮水產聯盟主催の漁業座談會は三十一日午前十時四十分から鎭南浦漁業組合の漁友館で開催した、出席者は朝鮮水產聯盟川谷參事、本道小迫水產課長、[illegible]井水產技師その他、地元及び道內の關係業者約五十名で國民儀禮ののち小迫課長と川谷參事の挨拶があつて座談會に移り次の如き提案事項につき午後五時終了散會した

▲時局並に水產報國運動の趣旨を平易かつ簡明に各部落に周知せしむる方策▲部落生產の實績擧揚上漁業組合聯合支部の活躍▲漁業組合聯盟と郡道との連絡保持▲漁業組合の生產計畫を管內各部落に割當てると共に組合員の實行目標の周知徹底▲部落生產實行計畫による各漁業者別實績調查の的確を期す▲天引貯金の勵行▲部落中心人物の養成とこれが活動の促進▲水產勤勞報國隊に關する件▲漁業者の慰安施設

[illegible]千頭郡守、所轄署長はじめ各邑面長會同し左の諸案件を協議した

線上徵收事項通報連絡の件▲八月納期の第三種所得税及個人臨時利得税等納税成績擧揚の件▲地籍路線保管確保の件▲土地分方の件▲酒類麴子密造宣傳の件

總會

【晉州】廿六日午後二時から商工會議所で朝鮮家具商工組合聯合會慶南支部晉州分區臨時總會を開催、上野慶南支部長、加藤檢查長を初め、陜川、居昌、咸陽、山淸、河東、[illegible]、晉陽、晉州一府七郡の分區會員六十五名出席、左記事項を附議した

家具工業小組合設立の件▲補助檢查員選任の件▲昭和十六、七年度分擔金承認の件

新國民運動の重要性
在南京大使館好富情報部長放送

新國民運動の目的

[illegible]

[illegible]商の影響を除去し得るや否やにかかつてゐる、新國民運動においてはこの排日教育を徹底的に根絶し、日支提攜の必要性と必然性を敎へ込むことを目的としてゐるのである

第三の目的は支那が大東亞建設の一翼を分擔するための敎育をなすことにある、大東亞戰爭勃發以來、日支兩國の關係はその性格を一變し、最早從來の日本對支那といふ對立關係ではなくしてアジヤの一部たる日本と、同じくアジヤの一部たる支那とがアジヤ復興といふ全般的目的達成のために如何にして相協力し相提攜すべきやといふ問題に變つて來たのである、新中國がこの大東亞建設の一翼を分擔するためにはこれに相當する國內態勢に心構へを必要とする、卽ち支那國民に大東亞戰爭の目標、アジヤ復興の意義を十分徹底せしめ國父孫總理の大アジヤ主義を認識せしめ、蔣介石の偏狹なる國家主義を淸算してアジヤ民族の大同團結たる大東亞共榮圈の建設に邁進すべき信念を植付ける必要がある

大建設の基礎工事
先づ日支永遠の和平確立から

五種に分けて訓練

然らば如何にしてこれを展開するやといふに、大別してこれを二つにすることが出來る、卽ちまづ第一に十一歲から廿五歲までの全國學生に對し軍事訓練を施すこと、及びこれと並行して全國青年中の最も優秀なる分子を選拔してこれに特別訓練を施し、これを今後の指導者とすることである

十一歲から十五歲まで、學校でいへば高等小學生から初等中學生までを以て中國童子軍を組織し、次に十六歲以上二十五歲までの青年、卽ち高等中學生から大學生までを中國青年團となすのであつて、之は謂はば學校訓練を一段と强化したものである、然してこれとは別に全國青年中の優秀分子を以て中國青年模範團を組織し、これに特別訓練を施し、將來の指導者に仕上げるのである

これ等中國童子、青年團及び青年模範團の訓練は精神敎育、思想訓練、行動規律、體力鍛鍊、勞動服務の五種に分けて、これを施すことになつてゐる、精神敎育においては支那古來の道德たる智、仁、勇を敎育するを主眼とし、思想訓練においては個人主義より全體主義へ、狹義の國家主義より國家集團主義へ、私有資本主義より國家資本主義への三つをモツトーとして支那民族の缺陷たる個人主義を是正し、全體主義的敎育を施すと共に適當の是正を加へ今後は國家資本主義の方向に向つて進まんとするものである、行動規律においては、例へば滅私奉公、公平正直、行動の規律化、知識の科學化などを敎へ込み、體力鍛鍊においては强健なる身體を作ると共に艱難に耐へる精神を涵養するを目的とし、勞動服務においては農作、交通、衛生、救護、秩序維持等の各種公益事業に服務せしむる方針である

共存の意識徹底へ

また經濟的思潮としては、從來の自由主義的經濟が重要政策失敗の一原因であつたのに鑑み、これに偏狹なる國家主義から大東亞共榮圈といふ國家集團主義に移らんとするものである、新國民運動はこの點において東亞聯盟運動に歸一してくるのである

帝國としてはこの新國民運動に對し全面的協力をなす方針であるが、これは本運動の成否如何は大東亞建設の成否にも絶大なる關係を有するがためである

支那問題の解決は支那の民心把握がその先決要件である、而して支那の民心を把握するには日支提攜が支那の行くべき唯一の道であるといふこと、卽ち日本も支那がなければ立ち行かぬ、支那も亦日本がなければ滅亡する、日支兩國は互に相倚り相助けてこゝに初めて存立し共に榮え得る國であるといふことを支那民衆に認識せしめこれを確信せしめた時はじめて可能となつて來るのである、卽ち蔣介石の排日敎育の殘滓を支那民心から根絶し拂拭し去り、その後に日支提攜の必須性、必然性を徹底せしめることが總ての問題の先決要件である

支那問題眞の解決

國民政府の基礎を强化し全面和平を招來し日支兩國永久提攜の基礎を築き上げるためには、中國の青年に對する政治敎育卽ちこの新國民運動が絶對必要條件である、斯くの如く正しき政治敎育を受け日支提攜の必要性を確信するものが社會の中堅層を占めるに至つた時、ここに初めて日支兩國が正常の關係に入り兩國繁榮が因つて來るのであつて、支那問題の眞の解決を見ることになる、この意味において新國民運動は獨り國民政府のみの事業といふやうな問題ではなく、實にアジヤ全體の將來を左右すべき極めて重大なる問題なのである

戰爭と民族
獨ソ戰線に見る民族魂

【ロストフ一日同盟】戰爭と民族が論議される時がやつて來た、國内少數民族を權力で縛り上げ、鬼にも角にも一定の方向に推進し既定の一途を辿つた昨日のソ聯はマンモスの强靭さをもつてゐた、だが一度その箍が弛むと統一的信仰の中心がなかつただけに、權力に反抗する勢力が被壓迫民族の間に澎湃として擡頭して來た、ドイツの主張と政策およびこの線に沿ふ占領地行政は、ウクライナおよびドン河流域地方を强く刺戟し、白ロシヤより分離獨立保護せんとする方面の氣運が政治的な獨立運動と化さなくとも、ソ聯から離反しようとする强い希望は昨冬までの占領地でも的確に感ぜられたが、新占領地でもこの思想は統一された形で民衆運動に現れてゐる

これ等民族がドイツ軍を解放者として迎へたことはもちろんだ、ロストフでは昨冬ドイツ軍の退却後多くの協力者が處刑された生々しい記憶をもつてゐるだけ、占領地ではなほ二、三日一種の不安な空氣が漂つてゐたが、ドイツ軍がドン河を渡つたとの報とともに市民の顏にははじめて安堵の喜びが浮び上つた、先づ街での話を拾つて見よう、この廣場に杖を曳く老人に出合ひ

『お前は今までの政治をどう思ふか』

と聽いてみると暫時口をもぐ〱させ選び得る最大の惡口を吐き出さうと努める、この老人は

『あの野郎共は祖先傳來の家財道具やそれから俺の周圍から何から何まで』

と叫んだ、涙を見せまいと顏をそむけびり〱痙攣する唇を噛むのだつた、農作物、工業、交通の中心地として豐かな富のこの地の娘さんも多くは跣足で昨日まで彼等のために戰つた者の路傍に無殘に斃れた兵隊の死骸に對してそつぽ向いて唾をぺつと吐いて行き過ぎる、馬の死骸が取片附けられて兵の死骸が放置されてゐるのは不思議な位だ

非運の獨將校救ふ
コサック娘に見る反ソの烽火

港の一角にある燒け落ちた工場には蟻のやうに人間が蝟集してゐる、白い岩鹽の山にも黒い人の山だ、ドイツ軍の許可を得た十萬の市民が餓鬼のやうに素手で鹽を掘起してゐるが混つてゐる鹽塊でも掘り出すものでもあれば一時に喚聲が揚る有様だ、傍の記者を見た一人の教養ありげな娘が掻集める手を止め『これも惡政の爲だ』とかつての爲政者を罵し忌々しげな口調で叫んだ、すると掘る手を休めずその横の年増の女が面を上げ目を瞬り『この二十年間自分の努力が一つとして自分のものになつたためしがないぢやないか』と獨言のやうにつぶやいた

この赤軍の要塞都市に二人の親衛隊將校が昨冬退路を遮斷されて以來八ケ月ロシヤ人に變裝して生き延びてゐたといふ嘘のやうな話がある、ドイツ軍入城と共に髯ぼう〱で飛び出したルパシカの男が戰車隊の先頭に立ち砲台の重要據點を狙ひ撃ちに射ちまくつた、話を聞いて見るとこの將校は昨冬一時行方不明と報告されたが當時形勢非なりと見て直ちに防空壕に身を潜めたといふ、終日飲まず喰はずで匿れてゐたが遂に一人のドン・コサックの娘の發見するところとなり思ひがけず彼女の努力で其後毎日パンと水の差入があり時には髯ぼう〱のルパシカ姿で街にさへ姿を現した、戰爭といふ狀態では文化水準の低いソ聯にさへ精神的物質的に苦痛を與へた、特に煖房のない冬の四十度以下の寒氣に曝された寒さは激しいだらうがそれにも拘らず難を覺悟でドイツ將校を助けたこの小娘には疑ひもなくドン・コサックの血が流れてゐるに違ひない

實踐へ學徒起上る
大學專門を打つて一丸
『國體』把握の大錬成會

道義朝鮮を確立する中核體として小磯總督は教學刷新を强調、これに應へる半島學徒の奮起が要請されてゐたとき、果して大學專門學徒が自ら率先して大同團結、國體の本義に徹し進んで大東亞戰爭の戰士の誓ひの實の一つを果さうと『朝鮮大學專門學校學徒總力委員會』を結成、その錬成會が四日から一週間京城三清町教學研修所の道場で開かれこの若き學徒の熱情を傾けての錬成會には總督自らも講師として臨席するといふのである、これは去る六月下旬、城大を中心とする京城府内の大學高專の學徒たちが自發的に蹶起、思想及び生活の刷新など學園に胎動する新體制實踐への逞しき意慾を盛り學徒總力委員會を結成組織したが、學徒たちの胸底からわきあがるこの時局にそふ思想の一大轉換に對して總督府、總力聯盟特に戰時下學徒の動向に對して大きい關心を抱つてゐる軍部も双手をあげて協力し會の實踐として總力戰を政治、軍事、思想、文化、經濟の各分野に解剖して研究し、特に『大東亞戰は何がために起つたか』の意義、さらに聖戰下半島出身學生の使命などを中軸として研究しこれをさらに醫、政經、法、文學、理工、農の各分野から關聯づけ、學科別にして座談會などを開いて研修し、學校總力聯盟とは全然別個に、時局に起ちあがる朝鮮學徒の縱の戰鬪機關として、理論を離れた實踐の道へ邁進してきたが、いよ〱結實する學徒の機熟は最近小磯總督が聲を大にして叫ぶ國體の本義透徹への實踐の一つとして蹶起しこの錬成會を催し眞の皇國臣民としての資質を備へることになつたものである、錬成會には小磯總督も自ら一講師として登壇、日は未定だが、若き半島の學徒に皇民道を説くことになつてをり、この外井原軍參謀長、組賀宮司、増田法學校長、古川保安課長、鎌田緑旗聯盟主幹、尾高城大教授、秋葉、瀬戸城大助教授、續田富康氏が講師となり日本精神の研究に、大東亞共榮圏確立への道を求める討論會をはじめ、講話、勤勞作業、座談會、吟詠會、靜坐、感想作文に卅名の代表學徒は合宿のうへ錬成、會期中の八日、大詔奉戴日には神宮に參拜して戰勝祈願を捧げることになつた、これに對して學徒總力委員會のよき相談役となつてきた城大尾高教授は語る【寫眞=尾高教授】

學徒總力委員會は決して上から押しつけられて生れたものではない、眞に時局にめざめようとする學徒たちが自ら大同團結の烽火をあげて天意に歸一し、切磋琢磨すること、この意圖の雄渾さを大きく買ひたいのである半島にも近く徴兵制が實施されようとするとき、内鮮の學徒がともに手を携へて起ちあがり、盛りあがつて行く學徒たちの大きな流れに一つの源となつて大東亞建設に邁進するのだが、すでに城大ではこの實踐の足跡を大きくして、國語の常用普及に努力、さらに日本語をして大東亞の共通語にするには如何にしたらよいかなどのやうな意慾が燃え立つてゐる、こゝにわが大學では頼母しいこれら學徒の意中を汲んでいまの城大學報を六頁に増頁して、二頁をこの學徒總力委員會の機關誌に開放、大いに意見を交し、研究の材料を發表させたいとまでに意氣込んでゐるのだ、こんどの錬成會にしてもその發端、ひいては教材までが、學徒自ら發案したもので、大いに協力しようと思つてゐる

貯蓄で切拔け！
總督府でポスター募集

『大東亞戰爭、貯蓄で切り拔け』と戰時下銃後國民に貯蓄の重要性を滲透させ貯蓄の徹底強化をはかる總督府財務局では力強き感銘を與へる貯蓄宣傳用ポスター圖案を來る九月十五日までに募集することになつた、募集内容はポスター紙の二分の一大（縱七十六センチ、横五十四センチ）とし、五度刷以内のものとする、圖案中に必ず『朝鮮總督府』の五字を挿入すること、なほ當選發表は十月上旬鮮内の主要新聞紙上に發表の豫定であり當選者には

一等三百円（一名）二等百円（二名）三等五拾円（三名）選外佳作薄謝（若干名）の賞金を贈る

陸軍省記者會一行きのふ滿洲へ

二日入城した大本營派遣滿洲視察陸軍省記者會一行は三日午前八時半宿舎朝鮮ホテルを出發、總督府に小磯總督を訪問挨拶の後軍司令部出入記者團と懇談を遂げ同四時五十八分京城驛發〃のぞみ〃で渡滿した

先づ軍援から
新發足日婦の初事業

大日本婦人會朝鮮本部では全鮮各道支部の結成と共に下部組織の動員態勢も近く整へることゝなるので今度新發足、最初の會事業として軍人援護事業三十項目を決定それ〱府邑面等の各地第一線支部において行はしめることゝなつたその事業計畫は

軍人援護思想普及講演會及懇談會開催、銃後家庭強化徹底への協力、職業斡旋、助産斡旋及慰問品贈呈、傷痍軍人配偶者斡旋、家事勞力援助、慰問金品贈與、皇軍將兵へ慰問袋（文）贈呈、弔問、弔慰金贈與、出動及歸還部隊迎送接待、入營、入團及應召者並部隊、特別志願兵訓練所慰問、艦船部隊慰問、演習參加部隊慰問、戰傷兵歸還兵及轉送患者送迎慰問、陸海軍病院、傷痍軍人療養所、職業輔導所等慰問及奉仕作業、武運長久祈願祭執行、慰靈祭執行、戰歿軍人遺骨送迎、公葬參列弔辭贈呈、戰歿軍人命日禮拜、靖國神社、護國神社、忠靈塔參拜供花その他陸海軍墓地清掃參拜供花其の他、戰歿軍人個人墓地參拜供花其の他、遺族に皇后陛下御歌謹寫奉掲用額贈呈、戰歿軍人初盆に際し遺族に盆提燈贈呈、靖國神社合祀の英靈遺族に靖國神社寫眞額贈呈、初節句を迎へる軍人遺家族男女幼兒に記念品贈呈、靖國神社護國神社、忠靈塔參拜遺族接待、遺族、遺家族、傷痍軍人慰安會及映畫會演藝會招待、軍人援護施設等の見學

從來朝鮮に於ける民間の軍人援護事業は軍人援護會を中心とし國民總力聯盟等の協力に依り實施されつゝあるを以て本事業實施に當りては右地方施設と緊密なる連絡を保持すること

この腕に狂ひなし
增産へ競ふ坑道戰士
全鮮鑛山鑿岩競錬會

新秋九月を期して向ふ二ケ月に亘り全鮮各種鑛山に展開される朝鮮鑛山聯盟主催鑛山增産運動に先行して日本鑛業が半島初の試みである鑿岩技能競錬を行ふことになつた、競錬は十日から十二日までを豫選期間、廿日から決勝戰を開始するといふ大がかりなものだが、まづ豫選は日本鑛業鮮内事業所を▲第一地區（金井、德興、新谷）▲第二地區（遂北、檢德）▲第三地區（甕津、樂山、路西坂）▲第四地區（雲州、遂安、成興）▲第五地區（殷銀、大楡洞、雲山御岩）の五地區に分ち競錬會場を德陰、遂北、甕津、遂安、雲山の五鑛山とし、各地區より選出された優勝チームは平南成興鑛山に會して決勝戰を行ふといふ順序、競錬參加選手は鮮内事業所で現に鑿岩手として稼働中の半島人定傭鑛員に限り一組四名補缺一名を以てチームを編成する、競錬は一組を二班に分け一班一發破として二發破の線を合成績とする、競錬作業時間は五時間を限度とし鑿孔から雨孔掃除後斤付迄で採點法は技能一千點、國民常識二百點計一千二百點を滿點とする、技能については掘進背搦（百點）時間（百點）發樂（三百點）加果（五十點）の標準で採點、國民常識は時間外に適宜口答試問を行ふもの、審査陣は審査委員長に日本鑛業朝鮮支社長、審査委員には社内保安技師、支社關係者、顧問には總督府技師で優勝鑛山には優勝旗を、選手には副賞、參加記念章を贈つて表彰するが鑛山增産に挺身する坑道戰士の技と皇民意識の鍛成とを兼ねたこの競錬は此の種のことでは最初のことであり來るべき增産陣に大きな効果を加へるものと期待されてゐる

大本教事件
檢事側から上告

【東京電話】大本教事件の被告出口王仁三郎（七〇）以下自動的四十八名は去月卅一日の控訴審で大阪控訴院高野裁判長から治安維持法違反は全部無罪、王仁三郎などは單に不敬罪として第一審より輕い判決言渡しがあり、これによつて大本教は國體變革を企圖する結社ではないと認定されたが、檢事側は重大視し大阪控訴院平田主任檢事ならびに第一審京都地方裁判所の主任檢事たりし小野現大阪區上席檢事は急遽上京、松阪檢事總長以下檢察首腦部に逐一報告し上告すべきや否やにつき何分の指揮を仰いだので三日午前午後にわたつて檢事總長室において松阪總長を中心に中野大審院次長、黒川大審院思想部長など參集、檢察首腦部會議を開いた結果、二審判決が治安維持法違反を無罪に處したのは重大なる事實誤認の懼れあり、檢事側はあくまで被告などの行爲は治安維持法に抵觸したものであることを主張し、檢事上告の手續をとるに決定直ちに大阪控訴院檢事局に手續方を命令した

解放マレー祭日

【昭南三日同盟】マレー軍政部ではかねてより皇軍のシンガポール攻略の偉業を永久に記念し併せて現地住民の民意昂揚に寄與するため來る十五日のシンガポール攻略半周年記念日をもつて東亞解放記念マレー祭々日とすることに決定この日昭南市のみならず全マレー半島にわたつて盛大な祭典を擧行し日本人も現地民も相ともに東亞解放の聖業を祈念することになつた、當日は現地軍民合同の戰歿者の慰靈祭、戰捷祈願祭、街頭行進などが擧行されるほか現地民の日本軍に對する功勞者、マレー復興功勞者の表彰、現地民に對する食糧品の賦與なども行はれ、また市民大會、運動會などの各種催しに加へて内地流の御輿、花電車、花バスなどの飾り物も續出して朗かな復興氣分を彌が上にも盛り上げようといふ計畫である、なほこの東亞解放記念マレー祭は今後毎年一回シンガポール陷落の日すなはち二月十五日に擧行される方針であるが、とくに今回は例外的に半周年記念日に行はれることになつたもので、來年からはスマトラにもこの種の祭が行はれることゝならう

成吉思汗の後裔達
時局川柳 詩畫

皇族妃殿下
日婦名譽會員に推戴

【東京電話】二千萬會員を擁し戰時下婦道實踐に力强い歩みを進めてゐる大日本婦人會ではさきに東久邇宮妃聰子内親王殿下を同會總裁に奉戴したが、今般同會ではさらに各皇族妃ならびに王公族妃殿下を同會名譽會員に推戴申上げたところ御聽許遊ばされた、金枝玉葉の御身を御顧ひで親しく範を垂れさせられる御心に山内會長以下感激申上げ、この光榮に應へ奉るべく一層職務を懸命にし會務の振作を期してゐる

高原に息吹く
新生蒙古建設の譜

夕焼、蒙古高原最後の夜、駐屯地百靈廟へ着く、蒙古には珍しい小川がせゝらぎの音も和やかに流れ、擦れば凍れさうに冷い、

和八年獨王、徳王各王侯らがこゝに集合し復興蒙古の第一議を發し大蒙古復興の第一頁を飾つたのだ、南京政府の壓迫、綏東事件の發生、百靈廟でわれ〱蒙古の旅は事實上終つた、明日は陰山山脈を越えれば厚和だ、文化の香匂ふ都會だ、復興運動發祥の地でこの蒙古草原縱斷の結びとしたい

住民が小魚を七、八尾釣つたと自慢して見せる、水清き百靈廟こそ實に蒙古七百年の長い眠に鞭を打ち鳴らした處（聖地）［illegible］の場所、昭

つひに支那事變の勃發は蒙古新生に拍車をかけた、蒙古を襲つた苛酷は既往の聲となり、いまは百日政治、軍事、經濟をヌキにしていま蒙古には三つの勝ちがある、擁護の形に立至る王侯と、無窮牧畜の喇嘛、長蔵

機と、新しき時代に目醒めた青少年たち、昂や上る蒙古の鼓動はこの三つの間に潜在してゐると私は斷言する、この面に向つて蒙族も建設運動に前進すべきであらう、もちろん草原に興る復興の息吹は充分に感得した〃アジヤの風〃は蒙古大草原に吹きまくつてゐる、我らが光榮ある成吉思汗の血にめざめた時、蒙の地平線に大蒙古進軍の足音は高ふのだ（完）【カットは北支軍報道部】

賣れる國體本義
街に嬉し皇民化の嵐

◇……路上で〃國體の本義〃を賣る、文部省が昭和十二年に賣り出した規格版、百五十六頁、定價卅五錢の小册子がこの頃の京城の街で賑々と息吹くかのやうに賣れ出したのである、この現象は小磯さんが着任と同時に京城の街に現れた一つのほゝゑましい風景であらう、最近では内閣發行の小册子〃臣民の道〃も顏を揃へて兩雙仲よく街角の露店本屋に皇國臣民を【寫眞=飛ぶやうに賣れる街角の本屋さん】

求めて並べられてあるのだ

◇……『オイ一日に何册賣れるかい』

『まあ三册から五册です』

日に三册なら一年経てば一千九十五册となる、一册を十人が讀めば一萬九百五十人は國體の本義にふれるわけだ

『買つてゆく人は大概若い勤勞階級の人たちです、學生さんはあまり買ひませんね』

本屋の苦學生らしい青年の率直な言葉である

◇……三日の夕刻鐘路のとある角を訪れゝば今しがた制帽の京電車掌が嬉しさうな顏で買つて行くのを見た、それをカメラと共に追ひすがつてその〃買ふ〃心理を聞ふと

『知つておかねばならぬことが書いてあるからです』

と答へた、この明晳な返事の主は新本柄太君といふ、夏の宵風が颯と吹き通つた、出々たる大道がその風のあとから拓けてゆくやうな宵であつた

魔都西安の相貌
深刻極む生活難
脱出の政治工作員談

【開封三日同盟】敗戰に喘ぐ生活難と爛獄の苦に喘ぐ西安を脱出、二日故郷開封に辿りついた重慶政治工作員中佐李輝（三）は皇軍の溫情に甦生を齎ひつゝ西安附近の現狀につき左の如く語つた

◇……私は開封の河南大學卒業後英國のケンブリッヂ大學に留學、歸國後重慶で三ケ月訓練を受けて政治工作員として西安に赴き約三ケ年半生活した、事變前西安の人口は六十萬位であつたが避難者が殺到して現在では約二倍の百二十萬に上り市民は家もなく雜居の生活をつゞけてゐる、物價は狂騰する一方でメリケン粉一袋が九十元砂糖一斤七元、煙草一箇五元といふ全く嘘のやうな値段で陸軍中佐の俸給一ケ月百二十元ではどうすることも出來ない、軍人は徴發によつて生活してゐる

◇……三ケ月毎に一回徴發が行はれてゐたが、物價の昂騰につれ麥の徴發は一ケ月に五、六回にも上るやうになり、農民の窮乏は日にみえて著しくなつて來てゐる、また壯丁の徴募は大東亞戰爭直前ころより一ケ月二、三回も行はれ、壯丁なき家庭からは金錢を徴收し、良家の子弟で徴發を好まない家庭は、六千元乃至八千元の身代金に金を出すといふ始末でこの身代金相場は漸次昂騰し一萬元台に上らんとしてゐる、自分が中佐の現職を捨て西安を脱出するに至つた動機は開封にある老母や弟からの手紙によつて日本軍占領地區にある中國民衆は壯丁の徴募も重税もない

◇……思想的に不純でさへなければ人材は登用されるといふことを聞き、また私の著述が和平を欲求するものであると睨まれ、西安の獄に投ぜられ、爾來一ケ年と八ケ月獄中生活をさせられこの四月出獄するとともに西安脱出を企圖し、目的を達して懐しい故郷に辿りついた、新黄河を渡河し河南東部平野に一歩を踏み入れた時、そこにはふさぶさとした雜穀類が稔り、農民は喜々として働いてゐる情景を目撃して、非常に感激した

明朗市政斷行
岸本新東京市長
決然抱負を語る

【東京電話】大物市長の要望に應へて東京市長に就任した岸本大將は杉並區堀ノ内一丁目の自邸で語る

お受けした以上應召の氣持で御奉公したいと考へてゐる、市政については今まであまり深く考へたことはなかつたがたゞこの際は空理空論に貴重な時間を空費する場合ではない、斷行あるのみだ、それには市民に對して實行し易いやうにさしむけねばならぬ、娯樂にしても運動にしても健全なものはどし〱奬勵したい

新市長は昭和十一年技術本部長を最後に現役を退いてからは芝浦の東京高等工學校の校長として科學的人材の育成につとめ自ら筆をとつて掲げてゐる高等工學校の學風三則

一、明朗快活、言行一致二、師弟情誼厚く規律嚴正三、空理空論を排し實行適用に心懸ける

これが大將の精神を説明してゐる

永登浦隣保館
近く新廳舍竣工

生産都市の土地柄だけに隣保相助の社會施設が要望されて廳舍の新築を待ちきれず昨年四月府出張所三階の小會議室を借り受けて開館した永登浦隣保館は他の役所内で總ての點に不便勝ちで三階を通行する三階で執務してゐるので總ての點に不便勝ちは重大抵でなく、殊に外來の診療患者を始め各種の講習會の時にも、その集まりが非常に多いので隣保館の事業遂行に支障を來たしく同館の建設を渇望してゐたところ府當局ではこの程九部市計畫區域整理事務所を改造してこれに充てると共に一部增築することになり、總工費一萬八千八百餘円で近く工事に取りかゝり九月十日までに竣工の豫定であるが

現在の事務室三分の二を隣保館事務室に、その三分の一を區切つて廊下をつけ隣の警備室を診療室、藥局、待合室に改造し物置、小使宿直室を理髪室に改造すると共に玄關左側分室を取毀して、その跡に、木造平家建で四十坪の講堂を建て料理、裁縫等の講習を始め講習又は講演會場に利用することになつたが、完成の曉は勞働細民階級の氣の毒な人たちに救ひの手を存分にさし伸べられるだらうと期待されてゐる

各道警防團員の講習會

總督府警務局では各道警防團關係者百餘名を招致し警察參考館において三日から七日まで五日間に亘り防空講習會を開催

朝鮮辯護士筆記試驗合格者

去る七月二十八日から三十一日まで施行された朝鮮辯護士試驗筆記試驗合格者は左の通り

岩村貞男、金田炳華、茂林聖照、清水正雄、光山恭一、梁原睦平

京城版

農家のお手傳ひ
日婦大觀町分會員

我々銃後婦人も第一線の將兵に負けてはならぬ――と日婦大觀町分會では三日午前十時から會員一千名を總動員して近郊の農家に赴き田畑の草取りや農機の手入れ等の勤勞作業に約四時間に亙り眞劍に汗を流して銃後婦人の力强い進軍ぶりを示した

樂しい食肉の配給
輪番購入票　廿日までに登錄

豚肉の配給を圓滑にしようと『家庭用肉類輪番購入票』を實施することは既報の通りであるが、……日午前十時から府議會議室に……町總代百名が參集、……以下關係職員と輪番購入票に關する打合懇談會を開催、……一日から二十日までに登錄を行はしむることゝなつた、甲號票は内地人家庭、乙號は半島人家庭に配布をみるが十五世帶までは一枚、十六世帶以上のときは十五世帶以內を增す毎に一枚を加へることゝなる、登錄期間は八月十一日から二十日までゝ、その後の未登錄者は三十日まで府廳に於て登錄手續きをしてくれる

各町愛國班長は十日常會の際班員と相談の上購入先を適宜に取決める、班長は購入順番を定めて所定事項を正確に書入れ希望販賣店に差出し、販賣店では店名と登錄番號を書入れる仕組となつてをり樂しい肉の配給の圓滑を期する態勢がなされる

日本操觚者代表は半島の涙ぐましき皇國民化の有樣を眼の邊りに見て感激し各自金十円を醵出、計三百五十円を取纏め同所の施設の足しにもと三日後野同盟通信社京城支社長を通じ海田所長まで寄附手續きを行つた

赤誠の〝まぐさ刈り〟

京城府の馬糧獻納を一手に引受けた江南各町では愛國班員、婦人會員、學生等を總動員して馬糧乾草四千貫の獻納運動を十二日から華々しく展開する筈であるが、これに先立ち永登浦青年隊北部分隊では豐田隊長指揮の下に二日飛行場の草原で〝まぐさ刈り〟を行つた

この日の朝時折の猛雨も物かはと四百名の男子と百名の女子隊員が濡れ鼠となつて豐田隊長を先頭に雨の なかを跣足で飛行場へ勇み進んだときは雨は晴れ上つて灼熱の陽が照りつける草原に鬪いて鎌を振り振り赤誠をこめて正午までみつちり聖汗を流して刈り取つた〝まぐさ〟一千貫を十一台の馬車に積んで凱歌をあげて歸途についた

米の二重取りを嚴重調査
西大門署で實施

管內廿二萬住民の正確な戶口調査を行つた西大門署では、町會被行の飯米賣出票記入の各家庭の家族數と照し合せて徹底的に米の二重取りを取締り戰時下の國民として一粒の米をも分け合ふべき今日、二重取りをやらうとする恥づべき行爲を一掃することになつた

これに就て『違反者と雖も、自己の非を悟り、今日までの違反を率直に申出れば寬大に處置をするが、どこまでも隱匿してゐて發覺した場合は嚴重處分されるから至急屆出るやうに』と親心を示してゐる

街の慰問袋
壕の上の茄子

※※※に人間はワダルが草花や野菜は生々とした潑剌さを見せてゐる、府主催の『家庭防護品展覽會』も八日から擧行されるので何處の町內も大ハリキリ、府內某所の防空壕にはこの春茄子の苗が植ゑられたが、すくすくと成長をとげ今では立派な實を結んだ、肥料もない壕の上にガツシリと根を張つた茄子の花は適當な迷彩の役目も果して朝夕班員たちの目を樂ませてゐる

【寫眞＝實を結んだ茄子】

漢江魚市場は代行機關に委任
きのふ臨時京城府會

……午後一時から府議會議室に開催、出席議員四十六名、……中央卸賣市場漢江分場設置……する件、同卸賣業……に關する……使用條例中改正、使用料……昭和十七年度京城府一般會計……豫算追加の件を一括上程、……

來鮮記者團寄附

去る一日志願兵訓練所を視察した……健全なる少國民育成の强化を圖ることになつた

漢江隣保館に授産事業部
助産部も新設

……授産事業部を新設して銃後國民に自給自足の精神を涵養すると共に……

不衞生極まる駱山の不良住宅
麓の家々へ汚水の洗禮

東大門方面の國旗揭揚台となつてゐる梨花町背後の通稱『駱山』は醜々たる岩相を表面に露呈して怪奇な姿を見せてゐるが、四年前からこの邊一帶に土幕の不良住宅が蝟集して現在では約六百戶に達して全く山の美觀は失はれてしまつた、その上雨季ともなれば山頂の不良住宅からは糞尿汚物が雨水に溶けこんで敗堤の瀧となり麓の建、梨花、忠孝各町の溜突に、庭に、遠慮もなく流れこんで衞生上由々しい問題であるばかりではなく汚水のために溜突も破壞される等の被害も相當にあるので、遂に附近住民も業をにやして所轄東大門署に陳情に及んだ結果同署高保安主任は三日午前現場に赴いて詳細調査を行ひ近く何等かの措置を講ずることゝなつた、これについて同主任は語る

『全く現狀を視て非道いことが判つた、再三地主の明時堂にも申入れてゐるが一向埓があかないので困つてゐたが衞生的見地からいつても放任は出來ない、何とか府とも協力して善後策を講ずるつもりだ』

また梨花町會では

『駱山の不良住宅は增加の一途を辿つてゐます、昨今では三軒一組で汚物溜場を作らせ下の方には流させないやうに注意させてありますが未だ完全といふわけには行かぬのでせう、住民は何れも勞働者で無智な小農が田舍を嫌ひ都へ出た者が多いので一般にいふ土幕民とは異ります今のところでは町會としても手が廻せませんが追々施設を改善して行く考へです』

と語つてゐたが、岩盤上に頑張る不良住宅民の扱ひは各方面とも惱みの種となつてゐる

謝禮金を獻金
感心な京電の信號手

京電信號手廣村明哉君（二）は去る一日明治町丁子屋前で信號作業に從事中午後七時半ごろ足元に轉がつてゐる風呂敷包みを發見、拾つて明治町交番に屆出たが、三日その落し主黃金町二ノ八七宮川興吉氏は京電東大門電車課を訪れ謝禮に三円を贈つた

しかし物堅い廣村君はどうしても受けず結局國防獻金することになつた

晴れの終了式
滑空指導者講習會

去月十五日から京城飛行場で開講中であつた十七年度第一回滑空訓練指導者養成講習會は全鮮各地から參加した中等教員十四名の涙しき航空熱によつて好成績裡に終了昨三日午後三時から受講者十四名を始め朝鮮國防航空團々長代理下城航空課長、安東指導係長、森航空官ら出席のもとに遞信事業會館で晴れの修了式を擧行した

團長代理の訓示についで證書授與、受講者にはいづれも二級滑空士の免狀が下附されたほか、二日實施の資料試驗および學科試驗合格者は近く發表されるがこの人々には初の三級滑空教士免狀が授與される筈である

【寫眞＝證書授與】

郡部住民に衞生講話

西大門署衞生係では管內に郡部を控へてゐるところから茂松主任が これら郡部の住民たちに衞生觀念を强めると共に時局認識を深めて一層お國のために滅私奉公をさせようと、四日と七日の二日に亙り茂松主任が係を督勵して衞生講話行脚を行ふことになつた、その日程は次の通り

▲四日＝一山駐在所管內（松浦面瀰面）
▲七日＝陵谷駐在所管內（知道面元堂面）

時局ニュース映畫、文化映畫等を同時上映して、文化施設に惠まれぬ郡部の住民たちに時局認識を深めさせることになつた

文化
四年前後（三）
芳村香道

奧地に入るにつれ、戰鬪地域の眞中に私自身が置かれてゐることが認識されると、私はすでに通譯使ではなくなり皇軍と生死を共にすべきをとき〳〵覺悟したのである。私は軍人と同じ氣持と心構へをもつて、自身を勇士たらしめんとした。

この時から、私は半島人のこの聖戰に對する新しき任務を考へると同時に、戰地におけるわが半島人達に特別な注意を拂ひはじめた。そのときの戰地で働く半島青年は殆んど運轉手と通譯であつたが、これらの人に會つて、その間の戰鬪的生活をきけば、實に國家意識のはつきりした勇壯なものがあつた。

私は通譯の一半島青年と、中條山麓の荒れはてた草原を歩きながら

『あなたも軍隊と一緒に現地へ行つた事がありますか』と聞けば

『ありますとも。これを御覽なさい。彈丸がこゝを貫通しましたよ』といひながら、右脚の上部を見せた。彼はなほ續けた。

『實際、私の氣持は軍人と少しも違はないのですが――』

このやうな青年達の熱烈なる愛國心の發露は到る處に見聞されたのであつた。ある處で、私は一人の若い軍人と話をしてゐると、隣に居つた他の兵隊さんが

『あなたは朝鮮からおいでになりましたね。朝鮮の志願兵は何時戰地に來ますか。早く一緒にやればいゝのになあ』

四年後の今日、徵兵制實施の發表があつた日の夜中、興奮に眠れない私の目と耳には、四年前戰線で見聞した記憶がかやうに纏まりもなく、何の繫がりもなく、パノラマとなつて現はれた。

京日歌壇
吉井勇選

京畿　岩井五兵衞

白百合をこよなく愛でしかの君は今英靈としづまりおはす

遺骨持ちて今し吾が前ゆく兵は頰陽にやけて眼すみたり

わが横に一人の見習士官ゐて征くとも見えず『文藝』を讀む

京城　成田博子

久びさに青葉若葉に降る雨の聲を靜かに鷄の鳴くこゑ

一本の茄子もトマトも大き代にかかはりありと思ひ育つる

【雜詠】毎月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚三首限り認め京城日報社學藝部『京日歌壇』あて▲住所氏名明記のこと

音感教育の一――理論と實際
酒田富治氏を招き講習會開催

在來の音樂教育の缺陷を根本的に改革する上から最も必要なる音感教育が、特に朝鮮では立ち遅れてゐるので朝鮮音樂協會教育部では、斯道の權威として知られてゐる酒田富治氏を招聘して、十六日（日）から十八日までは初等學校程度、十九日（水）から廿一日までは中等學校程度の講習會を京城花園町の京畿中學校講堂で開くことになつた

酒田氏の演題は『音感教育の理論及び實際』で、毎日午前八時から開始、期間中適宜に懇談會を催して研究に資する計畫もあるが、既にさる七月十六日附學務局長通牒で各道に通達されてゐるので希望者は總督府學務局社會教育課あてハガキで申込めばよい

文化だより

◇魚木教授講演會　日本精神による基督教の建設に精進する同志社大學教授魚木忠一氏の滿洲講演行脚の歸途を擁し南米倉町の基督教會では五日（水）午後八時から『大東亞建設の聖業』と題する同教授の講演會を催すが來聽は自由

◇文藝學生書畫展　城大文藝部主催、六日まで三越五階第一週廊で開催

◇『起ち上る日本』報道寫眞展　九日まで丁子屋四階催物場で開催

映畫ニュース

◆女學生に優秀映畫　若劇では夏季休暇中の京城府內各女學校生徒團體に限り情操教育の意味で特に次の優秀映畫を撰定、八月中每週一回觀覽に供する

▲第一週日活作品『愛の一家』
▲第二週東寶作品『大地に祈る』
▲第三週東寶作品『わが愛の記』

えんげいだより

▼文樂人形淨瑠璃前賣開始　來る五日（水）六日（木）の兩日京城府民館で公演の大阪文樂人形淨瑠璃引越興行の入場券は三越及び本町二丁目アサヒピヤホールで前賣を開始した

龍谷高女の登山隊けふ歸城

去る七月廿八日京城驛を出發して赴戰高原中の鰲蝀嶺の山頂を極めて氣象科學の研究と高山動植物の採集に山岳鍛成の日を送つた龍谷高女登山隊九名は四日午後九時高月教諭に引率されて京城へ歸還する

不連續線

天と人

照れば照れと希ひ、また、降れば照れと祈る心を、一途にわがままであるといふのは當らない。

たしかに、さういふ心の時代もあつた。然し、少くとも三四年このかたのわれ等の心は、さうしたわがままな心とは別に、天候のことについて本當に氣を配つて、灌漑のこと、稻作のことなどを憂ふることを覺えて來た。

そこに、物への有難さの心も生じ、生きる者の勤めといふことをわきまへられて來た譯で、天への恨みが、また、人の世への愛の現れであることをも教へられた。

天と人との和こそ、生きる者にとつては、至上の欣希である。

愛の赤道【174】
竹田敏彦（作）　都竹伸一（繪）

片燕（十）

佐智子は歸りに雨で濡れても困るので、暫く車屋を待たせておいて、玄關の方へ進み寄つた。そして、二郎の在宅を、心に祈りながら、

『御免くださいまし』

ためらひ氣味な聲で案內を求めた。年代を誇るガランとした家內からは、誰も答へる聲がしなかつた。

『御免くださいまし』

佐智子は、一段と聲を張り上げてみた。

やつと三度目に、奧の方から、

『はい……』

と、若い女のかん高い聲がして、ばた〳〵足音が近づくと、襖が開いて、

『はい……』

顏を出したのは晃子だつた。

『御免くださいまし』

佐智子は、改めて會釋を送つたが、怪訝に自分の姿を眺めてゐる晃子の冷たい視線と、この舊家風な家の構へに似ない若いモダーン風な相手を見ると、何かはつとした氣持で、

『あの、ちょつとお訊ねいたしますが、大槻二郎様はお宅でございませうか』

訊ねた。

『あら、只今、こちらにゐらつしやいませんよ』

晃子も、答へながら、佐智子の顏を、鋭く見守つた。佐智子は、その穿鑿に尖つた眼眸に、すぐ龍村の言葉を思ひ出して、『もしや』と思ひながらも、

『それでは、あの、どちらかへ御旅行でも？』

思ひ切つて問ひ返した。

『はア、もう三月以上も前に、從軍して、現地へまゐりましたよ』

『あら……』

失望の聲が、思はず、佐智子の唇を洩れた。晃子は、それを見ると、

『失禮ですが、誰方樣でございませう？』

怪訝さうに追及した。佐智子も、相手の表情に明らかに現はれた疑惑の色を讀取ると、すぐ、

『私、ヒリツピンのダバオで御厄介に賜つてゐました瑞木と申すものでございますけど』

『あら……』

晃子も、それを聞くと、すぐ思ひ出した。いつか離れの部屋で、二郎が話つて、供覽をしてゐた友人の寫眞に寫つた、あの娘に相違ないと、改めて、佐智子を見たが、

『あのそれでは、ちょつとお待ちくださいよ』

佐智子を殘して、奧へ入つた。そして幸ひ日曜日で、家にゐた恭輔の傍へ急ぐと、

『あなた……不思議な人が、二郎さんを訪ねてきてよ』

半ば好奇的な眼を微笑ませて、

『ほら、いつか言つたでせう、ダバオで、立派な死方をしたといふ、二郎さんが同居してゐたお友達ね』

『うむ……』

『その方の妹さんよ』

『妹さん……こちらにゐるのか』

『いゝえ、ほら、寫眞にうつつてゐた綺麗な娘さんよ……きつとこちらへ歸つていらしつたのよ。二郎さんは從軍してお留守だと言ふと、とても、悲しげな顏してよ……二郎さんも、あれで思ひも寄らない罪な人ね、千鶴子ちやんは、あの通りだし、どうします、歸つてもらひます？』

『さうだね』

恭輔は、ちよつと考へたが、

『二郎も、あちらでは、始終お世話になつてゐたらしいから、ちよつとお通しして、わしから御挨拶しようか』

『さうね……』

恭輔は起ち上つた。

ラジオ　四日

朝　六・〇〇（大）體操―京都市御賜元離宮二條城前廣場より中繼―▲六・二五（城）今日のお知らせ▲六・三〇南進の先覺『福本日南』（一）柳田泉▲八・〇〇歌のおけいこ『進め少國民』秋月正胤▲九・〇〇南方の生活を語る（三）『ビルマ』稻垣ヨシ▲一〇・〇〇ウタノオケイコ『ウミ』（二）高津トシ▲一一・〇〇『大東亞建設と青少年義勇兵』石黑忠篤

晝　午後〇・三〇歌と室內樂組曲『海の詩集』獨唱井口とみ子▲一・〇〇朗讀『燒野雉子（？）』（一）和田放送員▲二・三〇（城）『裁判の話』（錄音）長山瑞根

夜　六・〇〇（大）少國民海軍湖上訓練（錄音）岩田直二▲六・三〇（城）『朝鮮の名山を語る』（解說）（一）崔南善▲七・三〇（城）1『國體の本義と道義朝鮮』石本清四郎、2國民合唱『箱根八里』指導內田榮一▲八・〇〇1長唄『新曲浦島』芳村伊四郎ほか2（名）與三洞の夜扁（錄音）▲九・〇〇（城）放送劇（錄音）『開墾風景』徐月影ほか

夕刊
京城日報
第一種 毎日一回發行 定價 一箇月金二圓
京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社

長門の敵軍事施設を粉碎
荒鷲連日活躍 龍泉、零陵も猛攻擊

【廣東三日同盟】重慶來電によれば、過去數日間の福建、浙江、湖南省におけるわが荒鷲の活躍は熾烈を極め、七月三十一日閩江北岸の要地長門上空に殺到軍事施設に巨彈を浴せ、さらに一日午前にも同市を空襲殘存施設を粉碎、他の一隊は同日浙江省西南部福建省境龍泉を爆擊した、また二日には湖南省西部零陵に夜間爆擊を敢行重要施設に巨彈の雨を降らせた

浙江戰線
一路松陽に進擊
北界鎭を屠つて敗敵を猛追

【浙江○○基地二日同盟】二十九日拂曉金華西方○○より突如新行動を開始したわが新鋭○○部隊は連日の酷暑を克服しつゝ仙霞嶺、楓嶺山系の溪谷地帶を得意の健脚にものをいはせて一路南下、三十日午後三時には早くもその先遣部隊は龍游南方約四十キロの北界鎭を攻略し、引つゞき敗敵を猛追、同日夕刻には北界鎭南方約八キロの新路灣に進出し所在の敵を擊破し南下進擊中である

【浙江○○基地三日同盟】三十日夕刻新路灣に進出し一擧にこれを攻略したわが○○部隊は同地附近山地に遁入した暫編第三十二師の五六百の敵を擊滅したるのち三十一日夕刻北界鎭南方二十キロ標高六八二高地北側に進出し、さらに敵を追つて一路松陽に向つて進擊を開始した

海鷲又もタウンス・ビルを急襲
モレスビー、ホーン島も痛爆

【リスボン二日同盟】メルボルン來電=西南太平洋反樞軸聯合軍司令部二日發表によれば、日本航空部隊は一日ポートモレスビー、ホーン島およびタウンスビルを相前後して急襲軍事施設を爆擊した

北阿戰線
俄然、猛攻の火蓋
獨伊軍、英の虚を衝く

【ストツクホルム特電】(一日發)北アフリカのエル・アラメイン地區の戰鬪は、磁暫くの間天日も蔽ひ盡して吹きまくる砂塵に見舞はれ兩軍ともその活動の自由を全く奪はれ僅かに偵察と砲擊戰の應酬をなすに止まつてゐたが、カイロ來電によれば、三十一日に至つて天候回復するや俄然ドイツ、イタリー軍は戰車を前面に押立てゝ猛攻擊を開始、イギリス軍の虚を衝いて着々進擊を行ないつゝある

カイロを空襲

【ベルリン二日同盟】獨軍司令部は獨空軍のカイロ爆擊及び英本土攻擊につき二日次の如く發表した

一、獨空軍は英軍必死の防禦砲火を冒しカイロ東北のヘリオポリス飛行場を猛爆し地上にあつた英機十機を擊滅、その他多數の飛行機に大損害を與へ、飛行場東部の修理工場をも爆擊大損害を與へた

一、獨空軍は東部イングランド重工業都市ノーリツチを數回に亘り爆擊、市の中心部一帶の工場に爆彈および燒夷彈を投下した

伊空軍活躍

【ローマ二日同盟】伊軍司令部二日發表

一、樞軸空軍は英側後方連絡線、特にブルグ・エル・アラブ、アブーキル、エル・アドミリヤの各飛行場を空襲、重要施設に命中彈を與へ大火災を生ぜしめた

一、空中戰で英機二機をまたトブルクでは高射砲により一機を擊墜した

一、樞軸空軍はマルタ島ミカバ飛行場をまたも爆擊した

翻る大軍艦旗の下海岸線警備の海の勇士
マカツサルにて(ボルネオ)(海軍省檢閲許可第五七一號 內本海軍報道班員撮影)=電送

加、ソ聯公使交換

【……二日同盟】ロイター通信……電によれば、カナダ首相……ジーキングは二日下院に……ソ聯政府はフヨードル・グーセブ氏をカナダ駐在ソ聯公使に任命した旨發表した、カナダ側としてはこれまで駐ソ公使を任命してゐないが近く適當な人物を任命すべくソ聯側と交渉する筈であると言明した

援蔣工作に米側躍起

【廣東二日同盟】目下重慶訪問中の米特使カリーはビルマルート完封後援蔣工作が意の如くならないため、その一時凌ぎの彌縫策に躍起となつてゐる模様であるが、重慶來電によれば、カリーは約一ケ月重慶に滯在の上ち何事かを策すべくスチルウエルを同道、印度を訪問する豫定とみられる

英皇弟ケニヤ視察

【リスボン二日同盟】ナイロビ(英領ケニヤ)來電によれば、英皇弟グロスター公は去る卅日ポート・モンバサ(東阿英領ケニヤ)を訪問、同地駐屯の英陸海空軍を視察した

つひに見殺し
英米の不信、ソ聯憤懣

【リスボン二日同盟】南部戰線における獨軍の猛進によつてソ聯朝野の第二戰線即時要求の聲は一層高まつてゐるが、モスコー來電によれば、獨ソ戰開始以來最惡の事態に追込まれたソ聯は米英兩國に對してしきりに歐洲上陸作戰敢行の契約の實施を要求してゐる模様で、最近沈默を守つてゐたソ聯各紙は二日一齊に英ソ軍事條約締結以來はじめて米英における第二戰線即時展開要求の報道を掲げ、ロンドン、ニューヨークの演説會、示威運動の模様を詳細に傳へて民心の動搖を防ぐといふ手に出てゐる、ソ聯放送局も『時は人を待たず、われ〳〵は聯合國の公平たる新作戰の展開を待望してゐる』と放送して暗に第二戰線の即時結成がソ聯を現在の窮狀から救ふ唯一の方途である點を示唆してゐる、一方七月二十四附の米週刊ニュース誌タイムはソ聯が第二戰線展開に氣乘り薄な米英兩國の態度を痛罵してゐると左の如く述べてゐる

ソ聯はカナダ軍が英國海岸地帶で大規模な上陸作戰の訓練を行つてゐるとか、アイゼンハワーが歐洲戰場の米派遣軍總司令官に任命されたとかいふ報道には飽き〳〵してゐる、米英兩國は本年中に第二戰線の結成を約束してゐながら未だなんらの準備さへ行つてゐない點に不滿を抱いてゐる、ソ聯は現在最大の危機に曝されてゐる、ソ聯を助けるのなら今だといふのがソ聯輿論の一致するところである

かくて第二戰線結成問題に關するソ聯の對米英態度はいよ〳〵硬化するものと見られ、これをめぐる三國の動向はます〳〵微妙になりつゝある

濠洲の焦躁
第二戰線促進民衆大會

【リスボン二日同盟】メルボルン來電によれば、二日午後メルボルンで第二戰線促進の民衆大會が開催され約千五百名が參加第二戰線展開促進に關し濠洲政府に對する激勵文とチヤーチル宛の促進電報を可決した、來る六日シドニーでも同様示威大會が催される

英空軍四百卅二機喪失

【ベルリン二日同盟】デー・エヌ・ベー通信が入手した中立筋の情報によれば、英空軍は七月二十六日より同三十一日までに百六十機を喪失したといはれる、かくて七月中に英空軍が喪失した飛行機は四百三十二機に達した

一に懷柔、二に威嚇
英の印度切崩しに對處 會議派首腦協議

【リスボン二日同盟】ワルダ來電によれば印度國民會議派首腦者は二日ワルダにおいてガンジ翁と會見その提唱する新不服從運動の實施計畫を聽取協議を遂げた、會議派の對英態度を終局的に決定すべき全印委員會を七日に控へ右首腦部協議は、英國政治權力の印度撤退に關する會議派運用委員會の要求が英國より拒否された場合、全國一齊に斷行すべき不服從運動の實施計畫につき協議したものと報ぜられる、以上の事態に對し英國當局は一に懷柔、二に威嚇の常套手段をもつて不服從運動の切崩しを策しており、例へば印度勞働聯盟ベンゴール支部が二日不服從運動は印度國民を制壓せんとしてゐる外敵に機會を與へるものであり、印度勞働者を最惡の奴隷狀態に追ひ込むものであると決議したのは英國側の意を受けて工作したものとみられてゐる、一方ニューデリー電が印度政廳は印度事務相アメリーの訓令に隨ひ不服從運動の發展に處する萬全の準備が出來てゐる旨報じてゐるのも高壓手段をほのめかしたものにほかならぬ、しかしガンジー翁を中心に結束が強固となつた會議派がかゝる英當局の老猾な切り崩しや彈壓手段に屈することは殆どあり得ぬとみられてゐる

非暴力こそ最後の闘ひ
プ博士もガ翁支持

【リスボン二日同盟】ロイター通信パトナ(印度東部パトナ州)電によれば、印度國民會議派副議長ラジエンドラ・プラサド博士は現下の急迫せる印度問題につき二日大要左の如く語つた

ガンジー翁の提唱する全印新國民運動は非暴力不服從運動の形式で行はれるであらうが、これは印度獨立の爲の最後の闘ひとなるだらう、英國政府は印度はその統一を實現し得ぬとの口實のもとに印度人の手に印度の政權を渡すことを常に拒否して來たが、ガンジー翁はこの點を逆に考へてゐる、即ち印度はその獨立を贏ち得てこそはじめてその統一を實現し得るのであつて、

印度自由黨の妥協提案
ガンヂーら一笑に附す

【リスボン二日同盟】ニューデリー來電によれば三十日の英下院で印度事務相アメリーの行つた『英政府は、クリツプス特使のなした對印提案は一歩も讓らぬ』言明の強硬演説は國民會議派を大いに刺戟し來る七日ボンベイに開かれる國民會議派全印委員會を控へて愈よ反英不服從運動が展開されんとする形勢を示すに至つたので、卅一日親英的色彩の濃厚な印度自由黨總裁バハツル・サプルーは印度獨立問題に關する次の妥協的提案を發表したといはれる

これはガンヂー翁の多年の苦き經驗と最近のクリツプス訪印の際に得た教訓の結果にほかならない

しかし右提案は印度の即時獨立を主張する會議派の要求とは根本的に相容れぬものがあり、ガンヂー、ネールなどによつて一笑に附されることは勿論會議派の動向になんら影響を與へぬものとみられてゐる

獨ソ戰、決定的段階へ

【ベルリン二日同盟】獨軍進擊開始直後の七月中旬頃からソ聯側はしきりに危機到來を叫び悲觀的空氣をばらまいてゐたが、卅日スターリン首相が赤軍將兵に不撤退を訓令して以來、ソ聯の宣傳方針は一變し領土死守を強調するやうになつた、ソ聯側が獨軍の攻勢開始直後しきりに悲觀說や單獨和平說をばらまいたりしたのはこれによつて英米を激勵し一刻も早く第二戰線を結成せしめようといふ魂膽に出てゐたものだが、英米が大きな犠牲を拂つてまでこれを敢行する氣配なく從來通り武器援助でお茶を濁さうといふ態度が明かになると同時に、かうした消極的態度では赤軍の士氣を維持出來ないことが明かになつたので、急に態度を一變し領土の絶對死守を叫ぶに至つたものと見られてゐる、しかして目下死守宣傳の中心になつてゐるのはスターリングラードで、英側情報によるとスターリン首相自身その防衛指揮に當つてゐることは確實である、また英紙はスターリングラード攻略戰はモスコー防衛につぐ今年度の決定的な戰鬪だと強調、さらに獨軍の作戰目標は連絡路を遮斷せんとするにあると報じてをり、消息通もスターリングラードを奪へば獨軍の目下の作戰目標は大半達成されると說明してゐるところから見ても、スターリングラード攻防戰の重要性がわかる、赤軍は同市正面に有力な戰車部隊を配置しさらに北部から豫備部隊を南下させて必死の防戰に出てをり、目下戰鬪はドン河大彎曲部の西岸で展開され、獨軍大部隊のドン河突破はまだ成功するに至つてゐない、しかしロストフ、スターリングラードの中間においてドン河を突破した部隊は二百キロ前進してサリスクを占領、ロストフから南下した他の部隊はクシチエフスカヤを占領するに成功した、この方面の赤軍はすでに崩壞狀態に陷つたので獨軍は一氣にクラスノダール方面に進擊しケルチ半島との連絡路をつけるものと見られてゐる、この一帶はクーバン地方と稱され全コーカサスの小麥を始め重要な食糧生產の中心地になつてゐるのでこの地帶の占領は重要な意義がある、中部戰線では赤軍は相當な兵力を他に廻したもの〻如くボロネジ方面の反擊は微弱になり、これに反しモスコー正面のルジエフ方面で激烈な反擊を續返してゐる、一方獨軍は卅日以來レニングラードに對しいよいよ總攻擊を開始し、北部戰況の活潑化を暗示してゐる、要するに赤軍が『不後退、領土死守』の合言葉を呼號して必死の防戰に出てゐるに對し、獨軍が如何なる猛威を振ふかの問題は今後の作戰の展開上きはめて興味あるところだが、八月に入つて戰局はいづれにしても急速に決定的段階に近づくものと見られるに至つた

獨軍クラスノダール州境に肉薄
プペ兩市間鐵道完全に遮斷

【リスボン二日同盟】獨ソ南部戰線の戰況を綜合するに最も活潑な進展を示しつゝあるのはロストフベクー鐵道に沿つて西南進するバタイスク、クシチエフスカヤ方面とスターリングラード、クラスノダール鐵道に沿つて南進するプロレタールスカヤ、サリスク方面の北コーカサス戰線で、ソ聯側情報も獨軍は北コーカサスの赤軍防衛線の背後に深く喰ひ込んで情勢はさらに重大化した自戰線の重大化を率直に認めてゐる、情報によれば、クシチエフスカヤを攻略した獨軍は敗走する赤軍を南方に急追して進擊を續行、さらにロストフ、バクー鐵道上の要衝を占領したと傳へられ、先鋒の機甲部隊は同鐵道とスターリングラード、クラスノダール鐵道が交叉するチホレツク方面に向ひ進擊中といはれる、またスターリングラード、クラスノダール鐵道に沿つて作戰中の獨軍もこれに呼應して着々西南方に赤軍を驅逐、ビンシー情報によれば、先鋒部隊はすでにクラスノダール州境に近いベスチヤノコプスカヤに達したと傳へられる、かくて同鐵道はプロレタールスカヤ、ベスチヤノコプスカヤ間七十キロにわたつて完全に獨軍のために遮斷され、モスコー情報もまた同鐵道は南部戰線における最も重要な補給線としての機能を喪失した旨自認してゐる

獨軍、ドン彎曲部確保

【ベルリン特電】(二日發)二日ヒトラー總統大本營はスターリングラード西方正面のドン河大彎曲部において獨伊聯合軍が沿岸一帶におけるソ聯軍重要陣地を完全占領せる旨正式發表した、ヒトラー總統大本營が特にかゝる發表をなしたことはフオン・ボツク元帥が同地點よりスターリングラードに對する大攻擊開始の決定的態勢を確立し得たとの證左と見られ、今やドイツ軍はスターリングラード市を僅か五十キロの先方に望みこれを一擧に揉み潰さんとする態勢を完成した譯である、なほゲーリング大ドイツ元帥麾下の空軍は地上部隊の進擊に呼應し既に同地周邊のボルガ河流域一帶の制空に成功スターリングラードと外部との交通機關として最後に殘された、ボルガ河の航行は事實上杜絶を餘儀なくされてゐる

クシチエフスカヤ失陷
ソ聯側發表

【リスボン二日同盟】モスコー來電によれば、ソ聯軍司令部當局は二日朝の戰況發表においてロストフ、クラスノダール鐵道上の要衝クシチエフスカヤ失陷を認め次の如く發表した

一、ロストフ地區より南進コーカサスに進擊の獨軍先遣部隊はコーカサス領內八十キロから百六十キロの地點にまで進出してゐる

一、獨戰車歩兵協力部隊は赤軍の防衛線を突破猛攻を續け、ロストフ南方八十キロのクシチエフスカヤを占領、クシチエフスカヤ東方百二十キロの地點では激戰展開中である

一、クーバン河渓谷地區でも激鬪が續行されてをり戰線はコーカサス石油地帶に向つて次第に擴大してゐる

ソ聯戰車四百八十二臺擊破
カラチ方面の獨軍戰果

【ベルリン二日同盟】獨軍司令部二日發表=東部戰線一、南部戰線の獨機甲部隊ならびに歩兵部隊はクーバン河へ向つて敗敵を急追中で、すでに數ケ所において敵の頑強な抵抗を擊破し、また多數の聯合國部隊を殲滅した、獨空軍も地上部隊の進擊に協力ソ聯の後方連絡線を空襲

一、ドン河最大彎曲部で獨伊聯合軍は大爆擊機部隊の協力を得て敵の一橋頭堡を奪取した、獨空軍はまたボルガ河上の敵船舶に夜間空襲を加へ連絡船ならびに輸送船五隻を擊沈他の五隻と連絡船一隻に損害を與へた

一、七月廿三日から八月一日までの間にカラテ北西地區において獨軍一戰車部隊は敵戰車四百八十二臺を擊破した

伊軍戰況發表

【ローマ二日同盟】イタリー軍司令部發表=一、エジプト戰線では偵察砲擊が行はれた、わが航空部隊はエル・アラメイン、アレキサンドリヤ間の鐵道および沿岸道路を攻擊し敵後方補給地において多數の貨物を破壞炎上せしめた

一、わが戰鬪機隊は數において優勢なる敵戰鬪機隊を攻擊六機を擊墜した、わが方全機無事歸還

一、トブルクにおいて對空射擊により敵二機を擊墜した

一、ポートサイド沖合においてわが爆擊機は敵小型商船を撃沈した

北阿に主力を注げ
―英紙論調―

【チユーリツヒ三十日同盟】ロンドン來電によれば、ロンドンタイムス紙は三十日聯合軍は第二戰線の結成よりも北阿に主力を注ぐ方が得策なる旨次の如く論じてゐる

獨軍今次の對ソ作戰は米國の參戰がその効果を發揮する以前にソ聯を粉碎せんとするものにしてドイツの戰爭機構はこの目的を達成せんがために集中されてをり、しかも獨軍のこの計畫が部分的にすでに達成されてゐる

佛、示威運動禁止

【ビシー一日同盟】ビシー政府は卅一日安寧秩序を紊す虞れある示威運動を禁止すると共に許可なくして團體、武器を携帶するものは死刑に處する旨布告を發した

もし獨軍がコーカサス油田地帶を獲得しボルガ河の運輸組織を切斷するならばソ聯政府の戰鬪能力のために必要な赤軍部隊の輸送は永久に不可能となるであらう、英國民が多大の危險を伴ふにも拘らず第二戰線の結成を希望してゐることは疑ひないが、第二戰線の結成は一般民衆の感情より支配されるべきものでなく高度の戰略的目的により支配されなければならぬ、北阿のロメル軍に對抗することは第二戰線の結成と同様の効果を持つものである

總督府辭令(一日附)

西鄕三至 任總督府醫官(一等)命小鹿島更生園長

▲上原芳孝任城大助教授(六等)▲新療養所醫官牛島友記免小鹿島更生園長事務取扱▲城大助教授高井俊夫▲同三宅影補大助教授高井俊夫▲同三宅彰補高地療養所研究所員(各通)▲本府航空官赤木鈴雄、依願免本官(各通)

▲鐵道局副參事佐々木幸右衞門▲鐵道局技師乙藤作右衞門▲同石泊壽▲(大邱)司稅官城秀夫依願免本官(各通)

七月三十一日附發令=▲鐵道局書記佐々木幸右衞門任鐵道局副參事(七等)▲鐵道局技手乙藤作右衞門任鐵道局技師(七等)▲同石泊壽任同(七等)▲…命大邱稅務署在勤▲鐵道局技師南木廣太▲同遠藤卯左衞門▲同下村九十九▲(京城)司稅官山本榮依願免本官(各通)▲(平壤)產業技師山口勇依願免本職

―人―

◇石谷誠三郎氏(…)…

時の錄音

我が浙江作戰……つて突如新作戰……

× 敵兵の存するところ……

× 追擊の速度は……

× 重慶のゲリラ…は東南のカラ…

× チヤーチルの…まし合ひだ。第…んてチヤンチヤ…

× 結局は北米の…空しく踊るより…でせう。

× 獨ソ戰は、そ…拘らず、獨軍戰…

× 第二戰線の形…に必要がなくな…

× 敵兵に備へて…の鍛成に努る。

× 健全な肉體は…る。